


# リアホナ

聖餐会で  
携帯機器を？  
26 ページ

あなたが次に必要とする  
儀式は、18 ページ

「神の目的がくじかれる  
ことはない」、  
34 ページ



「ふさわしい状態で  
聖餐を受けるとき、  
わたしたちは  
**イエス・キリストの清めのカ**  
にあずかる資格があります。」

デール・G・レンランド長老と  
ルース・L・レンランド姉妹



18

特集

10 教会の財政的自立をもたらす  
霊的な基盤

ジェラルド・コセービショップ  
財務と運用の方針に従って、教会  
は教会員に教える原則を実践して  
います。



表紙  
写真/レスリー・ニルソン

18 聖餐というすばらしい賜物

デール・G・レンランド長老と  
ルース・L・レンランド姉妹  
わたしたちがふさわしい状態で  
聖餐を受けるとき、バプテスマの  
祝福を何度も新たにすることが  
できます。

26 デジタルの世界で礼拝する

アダム・C・オルソン  
電子機器はわたしたちの聖餐会  
の礼拝を強めることも妨げるこ  
とができます。

30 テクノロジーを使って教える—  
デジタルの世界において  
青少年の参加を促す

ブライアン・K・アシュトン  
教室におけるテクノロジーの使用  
を禁止するのではなく、青少年に  
正しい使い方を教えることがで  
きます。

34 聖徒たち—  
教会の物語—  
第6章：神の賜物と力

ジョセフが再び翻訳する力を与え  
られたとき、オリバー・カウドリが  
助けました。

シリーズ

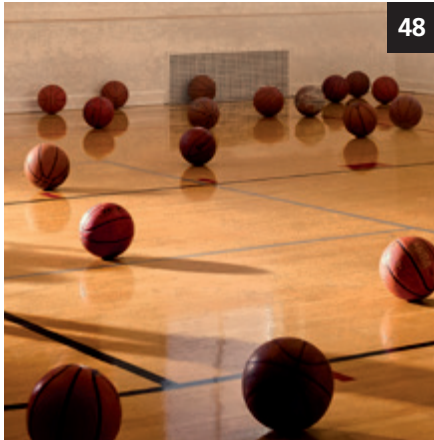
4 信仰の肖像—  
ダレン・リアと  
ステイシー・リア—  
オーストラリア、シドニー

6 ミニスタリングの原則—  
意義深い関係を築く

16 わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族—  
賢く気高い母親になる努力  
リリアン・パガデュアンピラマー

40 末日聖徒の声

80 また会う日まで—  
努力し続ける  
マービン・J・アシュトン長老



48

- 44** エリックはどのように神を信頼することを学んだのでしょうか  
リチャード・M・ロムニー  
苦難と苦痛の中で、ガーナのヤングアダルトは神への信仰を見だし、福音を受け入れる準備をしました。
- 48** でも、外したらどうしよう？  
サラ・キーナン  
もし失敗することを恐れて挑戦しないならば、成長の機会を逃すかもしれません。

- 50** あなたが伝道に召される前に  
ライアン・カー  
専任宣教師の経験と青少年が伝道を準備する方法の提案から彼らの考え方が分かります。
- 56** 宣教師となることについて  
教義と聖約が教える5つのこと  
シャーロット・ラーカバル  
これらの聖文は福音を分かち合おうと努めるわたしたちすべてに当てはまる宣教師の動きの原則を説明しています。
- 58** 教会をほんとうに必要とする  
6つの理由  
エリック・B・マードックと  
ジョシュア・J・パーキー  
教会の組織がわたしたちのための神の計画にとって不可欠な理由がいくつかあります。
- 62** 質疑応答  
時間を有意義に過ごすために、自由時間にどのような活動をするべきでしょうか。
- 64** ポスター——  
わたしたちの人生のための啓示
- 65** 大切なメッセージ——  
救い主をいつも覚えていたための6つの方法  
ゲレット・W・ゴング長老



70

- 66** わたしはいつもいのがることが  
できます  
これらのいのりについての質問に答えることができますか。
- 68** 光をかがやかせる——  
かがやくあかし  
わたしはこわいと思いましたが、ほかの生徒の前で自分のあかしの分かち合いました。
- 70** けんかをしない約束  
ミルナ・ホイット  
テイミーはモルモン書の物語を思い出しました。そしてどのようにしたら、いとことけんかをやめることができるか知っていました。
- 72** 信仰、希望、めぐみ——第1部  
平和の声  
メーガン・アームクネヒト  
戦争中にオランダに住むことはこわいことでしたが、グレースは自分の家族は大丈夫だと知っていました。
- 74** キリストについてあかしする使徒  
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 75** サッカーと日曜日  
ヨーク・クレビンガット長老  
わたしはサッカーが好きでしたが、教会を見つけると神様のほうがもっと好きになりました。
- 76** 聖文の物語——  
ハンナとサムエル  
キム・ウェブ・リード
- 79** 色をぬりましょう——  
わたしはよいもほんになることができます

こんげつごう なか  
今月号の中に  
かく  
隠れているリアホナを  
さが  
捜しましょう。  
ヒント——  
しよ なか  
モルモン書の中で  
やくそく  
どんな約束を  
み  
見つけることが  
できますか？



50

リアホナ 2018年8月号  
第20巻8号(14799 300)  
末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オックス, ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, ディーター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ペドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーツン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラスバンド, ゲーリー・E・スティープンソン, デール・G・レナランド, ゲレット・W・ゴング, ウリセス・ソアレス

編集長: ヒューゴ・E・マルチネス

編集長補佐: ランドール・K・ベネット, ベッキー・クレブソン

顧問: プライアン・K・アシュトン, リグランド・R・カーティス・ジュニア, エドワード・デュベ, シャロン・ユバンク, クリスチナ・B・フランコ, ドナルド・L・ホルストロム, タグラス・D・ホームズ

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャンロン

編集主幹: アダム・C・オルソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: フランシスカ・オルソン

執筆・編集: マリッサ・デニス, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ローリー・フラー, ギャレット・H・ガーフ, ラリソン・ポーター・ガント, ジョン・ライアン・ジェンセン, シャロット・ラーカバル, マイケル・R・モリス, エリック・B・マードック, サリー・ジョンソン, オデカーク・ジョシュア・J・パーキ, ジョン・ビンボロー, リチャード・M・ロムニー, ミンディー・セル, チャケル・ワードレイ, マリッサ・ウィティンソン  
編集インターン: リー・パートン

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, マンディー・ベントレー, C・キンボール・ボット, トーマス・チャイルド, デビッド・グリーン, コリン・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スーザン・ロフグレン, スコット・M・ムーイ, エミリー・チエコ・レミントン, マーク・W・ロビソン, ブラッド・テアー, K・ニコール・ウオーゲンホースト  
デザインインターン: シオネ・イヌキハナガナ

著作権および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

制作: アイラ・グレン・アデア, ジュリー・パーデット, トーマス・G・クロニン, プライアン・W・ギューギ, ギニー・J・ニルソン, デレク・リチャードソン

製版: ジョシュア・デニス

印刷ディレクター: スティーブ・T・ルイス

配送ディレクター: トロイ・R・バーカー

日本語版翻訳課長: 大森陽子

郵便宛先: Liahona, FL, 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「[リアホナ]注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391  
発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30  
電話: 03-3440-2351

価 格 (2018年1月より)  
年間購読: 国内 1,150円(送料込み)  
海外 1,150円(+送料実費)  
海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。  
普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリヤ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリヤ語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スワヒリ語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複製することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:  
August 2018 Vol. 42 No. 8. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

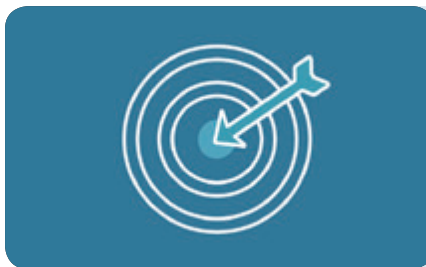
## インターネットで得られる追加情報



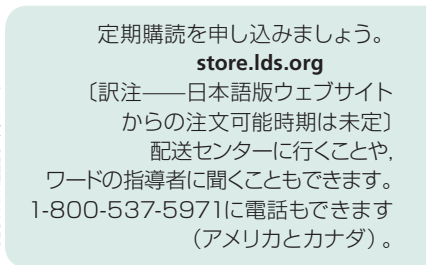
以下で記事を読みましょう。  
記事を投稿することもできます。  
[liahona.lds.org](http://liahona.lds.org)



心を鼓舞し、  
共有できそうなメッセージを  
以下で見つけましょう。  
(英語, ポルトガル語, スペイン語)  
[facebook.com/liahona](https://facebook.com/liahona)



ご意見・ご提案は以下まで  
お寄せください。  
[liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org)



定期購読を申し込みましょう。  
[store.lds.org](http://store.lds.org)  
(訳注——日本語版ウェブサイト  
からの注文可能時期は未定)  
配送センターに行くことや、  
ワードの指導者に聞くこともできます。  
1-800-537-5971に電話もできます  
(アメリカとカナダ)。

PHOTO: GETTY IMAGES

### 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- |                           |                            |                       |
|---------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 証, 6, 34, 68              | 啓示, 34, 56, 58, 64         | 堪え忍ぶ, 80              |
| 安息日, 18, 75               | 個人の価値, 62                  | テクノロジー, 26, 30        |
| イエス・キリスト, 18, 65, 74      | 財政, 10                     | 伝道活動, 42, 50, 56      |
| 祈り, 41, 43, 44, 66, 72    | 什分の一, 10                   | 天の御父, 18, 41, 44, 58  |
| 恐れ, 48, 65, 72, 76        | 障がい, 44                    | 母親の務め, 16             |
| 改心, 44                    | ジョセフ・スミス, 34               | 平和, 72                |
| 家族, 4, 16, 40, 72, 79, 80 | 信仰, 4, 44, 55, 65, 72, 76  | 奉仕, 6, 40             |
| 逆境, 41, 44, 80            | 親切, 70                     | モルモン書, 18, 34, 42, 70 |
| 教育, 16                    | 聖餐, 18, 65                 |                       |
| 教会指導者, 43                 | 聖約, 18, 58                 |                       |
| 教会の集会, 26, 30, 58         | 聖霊, 18, 30, 34, 43, 50, 56 |                       |
| 教会歴史, 34, 58              | 宣教師への備え, 50, 56, 75        |                       |
| 悔い改め, 34, 43              |                            |                       |

イギリス、ロンドンの映画スタジオでアニメーションの仕事に就くというダレンの夢をかなえようと、ダレンとステイシーはすべてを売り払いました。しかし、何年も待ち望んでいた赤ちゃんを授かったことが分かったとき、ダレンの収入だけではロンドンで生活し続けられないことが分かりました。

クリスティーナ・スミス、写真家

## ダレン・リアとステイシー・リア

オーストラリア、シドニー

**ステイシー:** オーストラリアに帰ろうかと話し合うようになりました。ただ、ブリスベンには映画スタジオがありませんでした。帰るのであればダレンは一生の仕事を諦めるしかありません。

**ダレン:** どん底にいる気分でした。妻は妊娠しているのに、わたしは仕事もなく、自分たちの住まいを借りることすらできなかったのです。

**ステイシー:** あるとき、両親の家の洗濯室で二人でひざまずいて祈りました。

**ダレン:** それから、ブリスベンに新しいスタジオが設立されると聞きました。おかげで、わたしはアニメーション制作の契約を取ることができました。

**ステイシー:** どのような困難に遭遇しようとも、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を持つことが最も大切だということを学びました。





## ミニスタリングの原則

# 意義深い 関係を築く

意義深い関係が築かれているとき、  
相手を思いやる力は強められます。

ミニスタリングに携わる召しは、思いやりのある関係——すなわち、安心して助けを求めたり、助けを受け入れたりすることのできるような関係——を築く機会です。そのような関係を育もうと努めるときに、神は両者の生活を変えることがおできになるのです。

中央扶助協会会長会第一顧問のシャロン・ユーバンク姉妹はこう述べています。「確固とした友好関係なしに意義のある変化は起こせないと考えています。」奉仕活動によって人々の生活を変えるためには、「相手が癒されることを心から願い、熱心に相手の言うことに耳を傾け、協力し、敬意を払わなければなりません。」<sup>1</sup>

意義深い関係とは、駆け引きではありません。思いやりと真心からの努力と、「偽りのない愛」の上に築かれるものです（教義と聖約 121：41）。<sup>2</sup>

### 関係を築き、強める方法

「個人的な関係は一人ずつ築いていくものです」と十二使徒定員会のデーター・F・ウークトドルフ長老は述べています。<sup>3</sup> 仕える相手と意義深い関係を築こうと努力をするとき、聖霊がわたしたちを導いてくださいます。以下は、ウークトドルフ長老の提案したパターンを基にしたものです。<sup>4</sup>



### 一緒に時間を過ごす

関係を築くには時間がかかるものです。連絡を取り続ける機会を探してください。様々な研究により証明されているのは、健全な人間関係を築くうえで、相手を心にかけていると伝えることが不可欠であるということです。<sup>5</sup>自分が奉仕するよう召された相手と頻りに言葉を交わしましょう。教会で話しかけてください。そのほか、電子メール、フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、スカイプ、電話、カードを送るなど、理にかなうものであれば何でも活用してください。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老（1928 - 2015年）は、シンプルかつ創造的な方法で愛と支持を伝えることの力について、次のように語っています。「聖典を開けると、〔妻ジェニーンからの〕優しさと愛情に満ちたメモが挟んであることがよくありました。……こうした貴重なメモは、今もなおわたしに慰めと靈感を与えてくれるかけがえの

ない宝となっています。』<sup>6</sup>

また、関係とは相手があったのことだということを忘れないでください。あなたが愛と友情を示しても、相手がそれを受け入れて返さなければ、関係は育まれません。相手が心を閉ざしているようであれば、無理強いしないでください。あなたが誠心誠意努力していることを分かってもらえるまで待ってください。必要であれば指導者に相談し、意義深い関係を築くことが可能かどうかを話し合しましょう。

### 相手をよく知る

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）はこう教えています。「よく知りもしない人のためによい奉仕をすることはできません。」ベンソン大管長は、家族全員の名前を覚え、誕生日や祝福、バプテスマ、結婚などの節目の出来事を知っておくように提案しています。そうすることで、家族のだれかが特別なことを達成した、あるいは成果を挙げたときにお祝いの手紙を送ったり、電話をかけたりする機会が生まれるのです。<sup>7</sup>

ミニスタリングの原則は、互いを思いやる方法を学ぶためのものであって、メッセージとして伝えるものではありません。仕える相手をよく知るようになると、聖霊の促しによって、彼らを心にかけ、哀れみの心をもって思いやりを伝える方法だけでなく、彼らが必要としているメッセージも分かるようになります。



### 思いやりをもって コミュニケーションを取る

意義深い関係を築くには、うわべだけのコミュニケーションでは不十分です。うわべだけのコミュニケーションとは、これからの予定、天気、そのほかあまり重要でない世間話が大半で、さらに意義深い関係を築くのに必要な、気持ちや信条、目標や心配事のかち合いに欠けているものを指します。天の御父は、より意義深いコミュニケーションのあり方の模範を示してくださいました。御父は御子に、また預言者を通してわたしたちに、御自身の思いと計画をかち合ってくださいましたのです(ヨハネ 5:20; アモス 3:7 参照)。御霊の導くままに、日々の出来事や人生の問題について分か

ち合うことで、共通の興味や経験を知ることができ、互いへの感謝の念が増します。

あなたが相手を心にかけていると伝えるうえで欠かせないのが、耳を傾けることです。<sup>8</sup> 注意深く耳を傾けると、相手の必要を理解して見極めることができるだけでなく、相手はあなたに愛され、理解されていると感じ、心を許せるようになります。そうすることで、人々をキリストのもとに来よう助ける機会が増すのです。

### 共通点だけでなく、 相違点も大切に

「〔中には〕、教会が一つの金型からあらゆる会員を造ろうとしていて、それぞれの会員が、他の会員と同じように見て、感じて、考え、行動するようにしている、と信じている人もいます」とウークトドルフ長老は言います。「これは、すべての人がその兄弟と異なるように……創造した神の知恵に反します。……

この多様性を利用して、主の弟子を高め、強めるために、わたしたちの才能を伸ばして使うよう互いに励まし合うときに、教会は力強く成長するのです。」<sup>9</sup>

神がわたしたちを愛しておられるようにわたしたちが人々を愛するためには、神が御覧になるように人々を見るよう努力しなければなりません。トーマス・S・モンソン大管長(1927-2018年)はこう教えました。「現在の姿を見るのではなく、人が将来なり得る姿を見る力を養わなくてはなりません。」<sup>10</sup> わたしたちは、神が御覧になるように人々を見るように祈り求めることができます。相手の潜在能力を念頭において接するとき、その人は期待にこたえて真価を発揮する可能性が高くなるのです。<sup>11</sup>

## 相手に仕える

仕える相手の必要に敏感になり、その人が困っているときも、ただ、あなたが心にかけていることを伝えるためにも、進んで自分の時間や才能を提供してください。そばにいて、非常時や病気、緊急を要する状況にある相手を慰め、支援し、必要な助けをもたらすことができます。ところが多くの場合、わたしたちは受け身になりがちです。

神はわたしたちが作用される者ではなく、作用する者となることができるように選択の自由を授けてくださいました（2ニーファイ2：14参照）。使徒ヨハネは、わたしたちが神を愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからであると教えました（1ヨハネ4：19参照）、人々がわたしたちの奉仕の行いを通して、わたしたちの心からの愛を感じるとき、彼らの心は和らげられ、愛と信頼が増し加えられるのです。<sup>12</sup> そのようにして、思いやりのある行為はますます向上していき、良い関係を築くことができます。■

## 注

1. シャロン・ユーバンク「人道支援活動は友好関係に基づいて行われるべきであると語るシャロン・ユーバンク」www.mormonnews.jpにて引用
2. 「ミニスタリングの原則：思いやりをもって手を差し伸べる」『リアホナ』2018年7月号、6-9参照
3. ディーター・F・ワークトドルフ「最も大切な事柄について」『リアホナ』2010年11月号、22参照
4. ディーター・F・ワークトドルフ「最も大切な事柄について」22参照
5. エズラ・タフト・ベンソン「教会のホームティーチャーへ」『聖徒の道』1987年7月号、54参照
6. See Charles A. Wilkinson and Lauren H. Grill, "Expressing Affection: A Vocabulary of Loving Messages," in *Making Connections: Readings in Relational Communication*, ed. Kathleen M. Galvin, 5th ed. (2011), 164-73
7. リチャード・G・スコット「結婚がもたらす永遠の祝福」『リアホナ』2011年5月号、96参照
8. 「ミニスタリングの原則：聞き上手になる5つのヒント」『リアホナ』2018年6月号、6-9参照
9. ディーター・F・ワークトドルフ「4つの称号」『リアホナ』2013年5月号、59参照
10. トーマス・S・モンソン「人が将来なり得る姿を見る」『リアホナ』2012年11月号、68
11. See Terence R. Mitchell and Denise Daniels, "Motivation," in *Handbook of Psychology*, vol. 12, ed. Walter C. Borman and others (2003), 229
12. See Edward J. Lawler, Rebecca Ford, and Michael D. Large, "Unilateral Initiatives as a Conflict Resolution Strategy," *Social Psychology Quarterly*, vol. 62, no. 3 (Sept. 1999), 240-56



## ミニスタリング——救い主のように行う

イエス・キリストは、弟子たちと意義深い関係を築かれました（ヨハネ11：5参照）。主は弟子たちを御存じで（ヨハネ1：47-48参照）、彼らとともに時間を過ごし（ルカ24：13-31参照）、うわべだけではないやり取りをされました（ヨハネ15：15参照）。主は弟子たちの相違点を大切に（マタイ9：10参照）、彼らの潜在能力を見ておられました（ヨハネ17：23参照）。あらゆるものの主であられたにもかかわらず、御自身が来たのは仕えられるためではなく、仕えるためであると言って、すべての人に仕えられました（マルコ10：42-45参照）。

仕えるように召された相手と堅固な関係を築くために、あなたは何をしますか。



管理ビショップ  
ジェラルド・コセー  
ビショップ

# 教会の 財政的自立

をもたらす霊的な基盤

**最**近、オハイオ州カートランドを訪れる機会がありました。回復に関する数多くのすばらしい出来事があったその歴史的な地で、訪問者たちは、この大いなる末日の業の基礎を据えた勇敢な男女の信仰と遺産について思い巡らすように勧められます。カートランドの時代はかつてない発展と霊的な高揚が見られた時期でしたが、当時の聖徒のほとんどは、非常に貧しく、不安定な状況で暮らしていました。彼らは、イエス・キリストと預言者ジョセフ・スミスに従い、しばしば豊かな農場や安定した仕事など、すべてを犠牲にしていました。

わたしはその神聖な場所を歩きながら、カートランドの当時の貧困と、教会と何世代も続く多くの教会員の、現在の相対的な繁栄との大きな差異をつくづくと考えざるを得ませんでした。主は御自分の教会と末日聖徒を何と祝福してくださっていることでしょう。

このように物質的な祝福が豊かに与えられているのは、神がしばしば繰り返し述べられた次の約束に基づいています。「あなたがたはわたしの命令を守るかぎり地に栄える。」<sup>1</sup>

この約束はモルモン書の話と教えの中心となるもので、18の異なる節に見られ、モルモン書の15書のうちの7書に述べられています。これらの聖句に述べられている繁栄の祝福は、おもに霊的な事柄に関するものですが、神の民が経済的發展を享受し、そして物質的に自立する能力もそれに含まれています。

注目すべきことに、物質的繁栄は、主の預言者を通して、主から啓示されて末日聖徒の日常生活と文化の一部となっている、幾つかの基本的な原則を忠実に守ることにより与えられているのです。これらの原

教会の指導者として、わたしたちは、  
適切かつ主に喜んでいただける方法で  
神聖な什分の一と献金を使用するという  
大きな責任をいつも感じています。



則として、什分の一の律法、断食の律法、また教育、雇用、自立の必要性などが挙げられます。教会員は、収入の範囲内で生活し、不必要な負債を避け、また食料貯蔵や預貯金を含む物質的な蓄えを増して将来に備えるようにとも勧告されています。

これらの物質的な原則について会員に教えながら、教会指導者は、教会全体に対し、大きな規模でそれらの原則を実施してきました。教会の財務と運用の方針に従って、教会は、教会員に教える教義と教えをそのまま実践しています。これから、これらの原則の4つについて述べます。

### 第1の原則：什分の一の律法

1838年7月8日にジョセフ・スミスに与えられた啓示の中で、主は、「このように什分の一を納めた者は、毎年彼らの得る全利益の十分の一を納める」と述べておられます。またこの特別な指示は、すべての聖徒にあてられたもので、「とこしえに彼らにとっての永続的な律法」になるとも説明されています。<sup>2</sup>

什分の一の律法が、その日に、主からの戒めとして、またイスラエルの民が過去に守っていた神の律法の回復として与えられたのです。それは、主が御自分の民と交わされた聖約のしるしでした。その聖約とは、主の民がそれに忠実であり続けるときに、主は霊的にも物質的にも祝福して下さるというものです。今日、什分の一の律法は、住んでいる場所や社会的地位、物理的環境にかかわらず、末日聖徒にとって必須の慣行として続いています。それはまた、教会の財政を安定させる基盤でもあります。

管理ビショップリックに召されて以来、わたしは、この律法に従って生活する教会員の信仰と誠実さにいつも感動し続けています。什分の一がなければ、教会はその神聖な使命を果たすことができないでしょう。ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）は、忘れられない総大会の説教の中で次のように述べています。「わたしは什分の一の律法に心から感謝しています。それは繰り返し繰り返し行われる奇跡です。それは人々の信仰により成り立っています。それは神の王国の御業の財政を確かなものとするための主の計画です。」<sup>3</sup>

1838年のその同じ日に、ジョセフは、もう一つ啓示を受けました。その啓示の中で、主は、什分の一の使用の承認と管理をどうすべきかを明確にされました。主は次のように断



教会所有の農園の近くに住んでいる会員たちは、果実や野菜を収穫するボランティア活動に携わる機会があります。教会の農園の農産物は、缶詰工場やビショップの倉に運ばれ、助けを必要としている会員を助けるために使用されます。

言しておられます。「わたしの教会の大管長会と、ビショップとその評議会、ならびにわたしの高等評議会により構成される評議会によって、また彼らへのわたし自身の声によって、それ〔は〕配分されるべき〔である。〕」<sup>4</sup> この啓示で言及されている「ビショップとその評議会」および「わたしの高等評議会」は、今日、それぞれ管理ビショップリックおよび十二使徒定員会という名で呼ばれています。

現在、教義と聖約第120章に含まれているこれらの指示は、細心の注意を払って継続的に実施されています。毎年12月の第一金曜日に、大管長会と十二使徒定員会、ならびに管理ビショップリックは、一堂に会して、翌年に見込まれる什分の一と献金からの教会の神聖な資金の配分を検討し、承認します。このような評議会を開くことにより、協議と啓示、全会一致の精神をもって決断を下すようにしています。

教会の指導者として、わたしたちは、適切かつ主に喜んでいただける方法で神聖な什分の一と献金を使用するという大きな責任をいつも感じています。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が非常に的確に述べています。「わたしたちはやまめのレプタがどれほど神聖なものかを痛感しています。」<sup>5</sup> ヒンクレー大管長はさらにこう付け加えています。

「教会が忠実な教会員から受け取るお金は神聖なもので

す。それは主に属するものです。……わたしたちが管理責任を負っている基金は、神聖な義務を伴うものであり、人々からささげられた神聖なものとして、完全な正直さと誠実さをもって、また細心の注意をもって取り扱うべきものです。

わたしたちはこれらのささげ物をされる皆さんに対して、非常に大きな責任を感じています。また、これらのお金の真の所有者であられる主に対しても、さらに大きな責任を感じています。』<sup>6</sup>

この教会は金融機関や営利企業ではありません。イエス・キリストの教会です。この教会には、主御自身が定められた以外の目的はありません。その目的はすなわち、「キリストのもとに来て、キリストによって完全に」なるようすべての人を招くことです。<sup>7</sup>「イエス・キリストの福音に従って生活するよう会員を助けることや、伝道活動を通じてイスラエルを集めること、貧しい人や助けの必要な人の世話をすること、神殿を建設し、身代わりの儀式を行うことによって死者が救いを得られるようにすること」によってそれを行うのです。<sup>8</sup>

方針によって、神聖な什分の一基金は、教会の霊的かつ宗教的使命を支えるために承認され、用いられます。次の6つの主要な分野を支えるために使用されます。(1) 全世界の30,000を超えるワード／支部に礼拝の場所を提供し、それを保持すること。(2) 教会の福祉プログラムと人道支援プログラムを運営すること。2017年に2,700を超えるプロジェクトに取り組みました。(3) 教会の学校、大学、セミナー・インスティテュートなど、教育プログラムを提供する

**2016年7月、LDS慈善事業団は、インドのカリムナガルで280台の車椅子と三輪自転車を提供しました。2001年以降、LDS慈善事業団による車椅子の寄贈台数は、133か国で50万台を超えています。**



こと。(4) 420の伝道部と、およそ70,000人の宣教師が必要とするリソースを含む、全世界の伝道活動を支援すること。(5) 神殿を建設すること、全世界のおよそ160の神殿と今後建てられる神殿を運営すること、および広範囲に及ぶ家族歴史と記録保存プログラムを運営すること。(6) 教会の一般的な管理運営を支援すること。

わたしは什分の一の律法に感謝しています。教会にとって、また教会員の各人にとって、それは霊的と物質的の両方で祝福の源です。

## 第2の原則：自立

個人の選択の自由は、神の最も大いなる賜物の一つです。それは、わたしたちの地上での進歩と永遠での救いにとって不可欠のものです。物質的にも霊的にも自立することによって、神の子供たちは、自分で選択し、その結果として創造の目的を達成する能力を増すのです。

したがって、わたしたちの神権時代の預言者たちが、努めて自立するよう教会員に絶えず勧めてきたことは、驚くに当たりません。ヒンクレー大管長の次の言葉は、特にそれをはっきり告げています。

「皆さんに強く申し上げたいのは、家計の状態をよく調べて支出を抑えることであり、購買欲を抑えて、借り入れをできるだけ避けるということです。負債はできるだけ早く返済して、束縛から逃れてください。

わたしたちが信じているこの福音には実務面が含まれています。神の祝福を受けて皆さんの家が秩序の家となりますように。借金を返済し、蓄えがあれば、それがたとえ少額であっても、嵐が襲ったときの避難場所が自分の〔家族〕にはあり、心には平安が訪れます。』<sup>9</sup>

ラッセル・M・ネルソン大管長も次のように語って、自立のもたらす祝福について強調しています。「真剣に働くことで、聖徒は自分が何者であり、自分の永遠の価値は何であるか、新たに理解できるようになります。義、自立、儉約、勤勉などが個人的な目標となります。これらの特質は生活を変えます。』<sup>10</sup>

家庭での賢明な予算編成によって個々の会員や家族が自立心を維持できるのと同じように、堅実な財政管理は、教会が独自の運営を行ううえで、きわめて重要です。これは、ジョセフ・スミスを通して与えられた、「〔主の〕摂理によって、教会〔は〕日の栄えの世界の下にある他のすべての造ら

れたものの上で自立する」ようにという神の指示に従うものです。<sup>11</sup>

この摂理はわたしたちの時代には特に明らかです。教会は財政的に完全に自立しており、いかなる負債もなく教会の使命を果たすことができるという事実を、わたしたちは喜んでいます。ヒンクレイ大管長が述べたように、「やっていくことができなければ、プログラムを縮小します。……借り入れはしません。」<sup>12</sup>

財政管理の方針は、教会指導者によって定められており、年間予算を組むことと経費を割り当てることに慎重に適用されています。これらの方針の中に、次の二つの簡潔かつ明確な原則があります。

- 第1に、総支出は予測される収入を超えない。
- 第2に、運営経費の予算は、今後予想される什分の一献金の増加よりも早いペースで毎年増やすことはしない。

### 第3の原則：将来に備えた生活

教会員は、人間の行為と自然の猛威の両方が原因で生じている災いの時代に自分たちが生きているという事実気にしています。終わりの時代についての預言は明らかであり、将来起こる可能性のある飢饉、災害、不況、そのほか予測できない逆境のためであるかどうかを問わず、将来のために備えるのは非常に賢明なことです。教会指導者は会員たちに、余分の水や基礎食品、医薬品、衣類、そのほか非常時に必要な物品など、家庭貯蔵を行うことにより将来に備えて生活するようしばしば勧告してきました。次のような勧告も与えられています。「収入の一部を定期的に貯金することで、少しずつ経済的な貯えを築くべきである。」<sup>13</sup>

物質的な備えに関するこの同じ原則は、教会の中央レベルにも適用されています。例えば、穀物サイロ〔訳注：穀物などを貯蔵する塔状の倉庫〕と非常時の基本的生活必需品に満たされた倉庫が、北アメリカの至る所に設けられています。教会はまた、将来必要となるときに備えて、毎年教会の資金の一部を取りのけておくという慣行に秩序をもって従っています。

その場合、取りのける金銭は教会の運用準備金に加えられます。そして、株式と債券、課税対象企業（その一部は教会初期のユタ時代から）の過半数株式、商業用不動産、産業用不動産、住宅用不動産、農業に投資されます。教会の



会員は地元の家族歴史センターで家族写真を保存する助けを受けることができます。什分の一の献金は、教会の世界各地の家族歴史活動に資金を提供するのに役立っています。

準備金は、職員と外部アドバイザーから成る専門グループによって運用されます。リスクは、賢明かつ堅実な管理と現代の資産運用の原則に従って分散されています。

タラントのたとえの中で、報告することを僕たちにお求めになった主は、自分に託されたお金を運用しないでその代わりにそのお金を地の中に隠しておいた僕を叱責されました。主は、妥当な利益を得るためにそのお金を運用しなかったことで、その僕を「悪い怠惰な僕」と呼ばれました。<sup>14</sup> この霊的な原則に従って、教会の準備金は、非生産的な銀行預金口座に入れたままにしておくことをせず、利益を生み出すところに用いられます。

これらの投資された資金は、教会の使命とプログラム、ならびに運営を支障なく継続できるように、また非常時の財政的必要を満たせるように、苦難に遭ったときに使用することができるのです。その資金はまた、主の再臨に備える教会の使命を支援する追加の財源を提供するためにも必要とされるものです。イエス・キリストの福音が教えられ、教会



が地上のすべての国に設けられるという預言が成就するように、教会の発展を支えるのに助けとなる資金です。この発展の大きな部分が世界の発展途上で人口の多い国で起こるのであろうと、わたしたちは予測しています。数千の集会所、さらなる神殿、そのほか教会員がどこにいても彼らに祝福をもたらすのに必須の資産を提供するために、財力を増し加え続けることが必要となります。要するに、これらの資金はすべて、神が定められた教会の使命を支えるためのものであって、それ以外の目的はないのです。

#### 第4の原則：主御自身の方法で

パウロはコリントの聖徒たちに警告してこう述べました。「信仰が人の知恵によらないで、神の力によるものとなるためであった。」<sup>15</sup> わたしは教会の管理ビショップリックで奉仕するように召されたとき、この原則の重要性をさらによく理解するようになりました。

わたしたちはビショップリックとして、個人の経歴と経験、専門分野を用いて、問題の研究のために共に協議します。しかし、最終的には、祈りの精神をもって、主の御心についての啓示を絶えず求めながら決断を下します。マクロ経済指標と財務分析のような事柄を考慮しながら、最終目標は、主の計画を実行し、キリストのもとに来るようにすべての人を招くという教会の神聖な使命を遂行するという責任を果たすことです。この目標は、靈感と神権の力によってのみ達成し、満たせるのです。主御自身の方法で物事を行うよう指示されているこの召しによって、わたしは、毎日毎日、へりくだった気持ちに満たされています。

#### まとめ

時折、今日の教会を、力強い繁栄している組織だと評する人々がいます。それは真実かもしれません。しかし、教会の強さはその建物の数や美しさ、あるいはその持ち株や不動産の所有数でのみ測ることはできません。ヒンクレー大管長がかつて述べたように、「つまるところ、教会の唯一の真の富は教会員の信仰にあります。」<sup>16</sup> 教会を理解する鍵は、「それを世界的規模の組織として見るのではなく、キリストに従い、互いと隣人を心にかける、世界各地にある何千ものワードや支部の何百万人もの忠実な会員として見ることで。」<sup>17</sup>

言い換えれば、教会では人がすべてなのです。共通の信

仰と聖約によって結ばれている個々の会員がすべてなのです。会員たちが教会の強さであり、将来です。わたしは、自分の一の律法、自立、将来に備えた生活、主御自身の方法で聖徒たちに必要なものを与えることに関して、回復の初期の時代に主から与えられた啓示に心から感謝しています。わたしは証します。これらの原則は、教会員とその家族、また教会の全体に対して、大いなる霊的な祝福と物理的な祝福の源です。これらの原則は、わたしたちが進む道を指し示し、また救い主が戻ってこれるときまで教会の使命を支援し続けることでしょう。■

2018年3月2日にブリガム・ヤング大学で行われた2018年教会歴史シンポジウムでの説教“Financing Faith: The Intersection of Business and Religion”（「資金を提供する信仰——ビジネスと宗教の接点」）から。

#### 注

1. 例として、2ニーファイ1:20を参照
2. 教義と聖約119:4
3. ゴードン・B・ヒンクレー「伝道と神殿、そして管理の職」『聖徒の道』1996年1月号、61
4. 教義と聖約120:1
5. デビッド・A・ベドナー「天の窓」『リアホナ』2013年11月号、20
6. ゴードン・B・ヒンクレー「行いの伴った末日聖徒」『聖徒の道』1998年1月号、99
7. モロナイ10:32
8. 『手引き 第2部——教会の管理運営』（2010年）2.2
9. ゴードン・B・ヒンクレー「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号、62
10. ラッセル・M・ネルソン「主の道にかないて」『聖徒の道』1986年7月号、28 参照
11. 教義と聖約78:14
12. ゴードン・B・ヒンクレー「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号、62 参照
13. 『手引き 第2部』6.1.1
14. マタイ25:14-30 参照
15. 1コリント2:5
16. ゴードン・B・ヒンクレー「教会の現状」『聖徒の道』1991年7月号、56 参照
17. “The Church and Its Financial Independence,” July 12, 2012, mormonnewsroom.org.

## 賢く気高い母親になる努力

リリアン・パガデュアンピラマー

わたしは母親の務めに目的意識を持たず、悩んでいました。そんなときに、昔の日記を読んで考え方が変わったのです。



わたしは科学の分野で大きな貢献をしたいとずっと思っていました。ブリガム・ヤング大学ハワイ校の学部生だったころ、生徒指導にとっても熱心なダグラス・オバ博士の手ほどきで分子生物学とバイオテクノロジーの世界に導かれ、この分野での訓練もオバ博士から受けました。夏のインターンシップで、アメリカ合衆国ユタ州プロボにあるブリガム・ヤング大学の分子生物学研究所で働く機会にまであずかったのです。

本国のフィリピンに帰ると、フィリピン大学のDNA分析研究所で職を得ました。研究所ではいろいろなコミュニティプロジェクトで働き、研修や会議に出席し、わたしの書いた専門記事は地元の学会でも海外の学会でも評価されました。大学院にも進学しました。新しい仕事はやりがいがありました。

2年働いた後、わたしは幼なじみと神殿で結婚しました。その後しばらくして最初の子供が生まれると、初めてわたしは悩むようになりました。どうやりくりをしたらいいのか分かりませんでした。赤ん坊の世話をし、夫と過

ごす時間を取りながら、大学院の授業を受け、職場でプロジェクトや論文に取り組み、教会の召しも果たさなければならなかったのです。この悩みについて話すと、夫は仕事を辞めることを考えたらどうかと、優しくアドバイスしてくれました。このアドバイスに一理あることは分かりましたが、わたしにはまだ、仕事を辞める覚悟ができていませんでした。

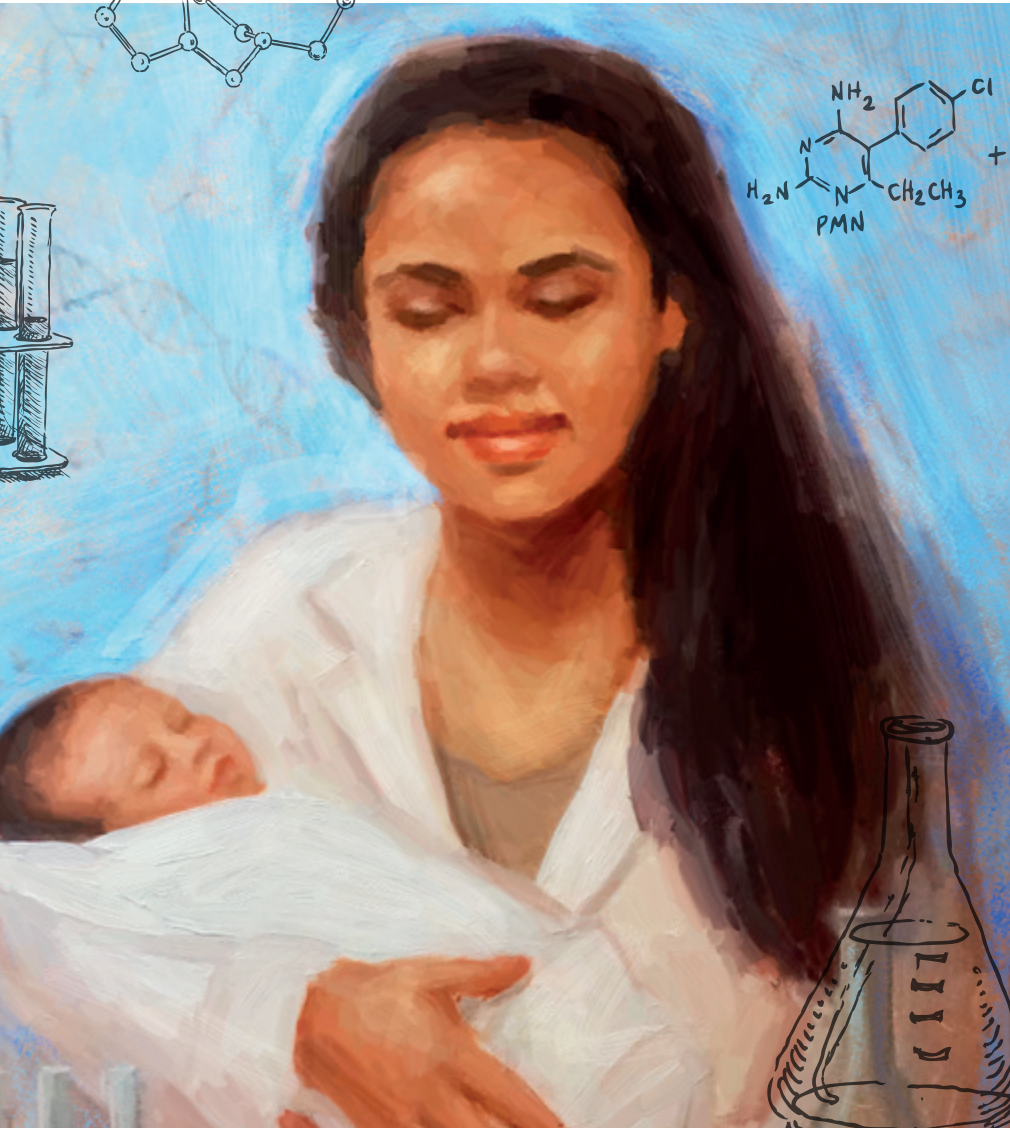
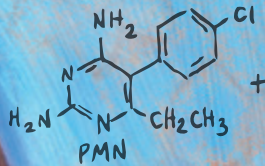
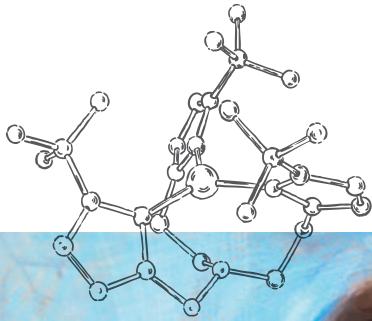
2番目の子供を妊娠したとき、わたしは切迫早産のため絶対安静を命じられました。ついに何もできなくなったと観念しました。自分と家族にとって最善の選択をしなければならないことは分かっていました。よく考えて祈った後に、わたしは研究所の仕事を辞めてすべての時間を子供に注ぐことにしたのです。

それまでずっと自分は母親になるものと思ってきましたが、それがどれほどの犠牲が求められるものなのかは分かっていませんでした。できるかぎり前向きに考えようとしたのですが、仕事も大学院の勉強も中途半端になってしまったことを残念に思うことが何度もありました。母親としての務

めを全身全霊で果たすために霊的な力を与えてくださるよう、天の御父に祈りました。夫はわたしの悩みに辛抱強く耳を傾けてくれました。そして、考えたことや感じたことを日記に書くといいと言ってくれたのです。日記は忙しさにかまけてしばらく書いていませんでした。

ある日、子供たちが寝ている間に、自分の昔の日記を読むことにしました。読んでみて驚いたのは、自分が青少年の時期もヤングアダルトになってからも、一貫して母親になるという大きな望みについて書いていたことでした。特に印象に残ったのはこんな言葉です。「学業も霊的な学習も一生懸命にやって力をつけ、子供たちの賢く気高いお母さんになりたい。」

まさにわたしがいちばん必要としていた言葉でした。自分が家族にとって正しい選択をしたことを御霊が証するのを感じました。それまで受けてきた教育や職場での経験が、自分のためだけでなく、子供たちのためにもなることに気づきました。わたしは新たな証を得、母親の務めを永遠の観点から見るできるようになりました。



### 靈感に基づく 選択

「主の御心が分かったら、信仰をもって前進して、自分の目的を果たしてください。ある姉妹は、靈感を受けてさらに上の学校に行き、医学部に進学して患者に大きな影響を与え、医学の研究を発展させるかもしれません。また、別の姉妹は、奨学金を受けて権威ある教育機関で学ぶのではなく、現代のその世代にしては早い時期に、靈感を受けて家庭に入り、永遠に続く大きな影響を子供たちに与えることができるようにするかもしれません。」

同じ基本的な疑問に対して、同じように忠実な二人の女性が、このようにまったく違った導きを受けることなどあるのでしょうか。確かにあるのです。何が正しいかは人によって異なります。わたしたちが互いの選択やそうした選択に至った事情について疑問をはさむべきではないことが非常に大切なのは、こういった理由からです。」

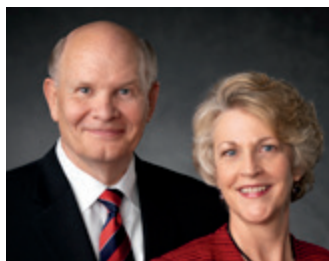
M・ラッセル・バラード  
十二使徒定員会会長代理  
“Women of Dedication, Faith, Determination, and Action” (Brigham Young University Women’s Conference address, May 1, 2015), 4, womensconference.byu.edu.

わたしは5年間、母親として家で子育てをしました。後に、子供たちが少し大きくなってから、わたしは大学院の課程を修了して職場に戻りました。限られた時間をうまくやりくりして職場と家庭と教会で自分の務めを果たすことを、わたしは今でも学んでいますが、すべては主の助けがあってこそうまくいくのだということが分かりま

す。わたしは引き続き「人生という研究所」で価値ある経験をして、母親の務めに喜びと目的を見いだしています。■

筆者はフィリピン、メトロマニラ在住です。





デール・G・レンランド長老と  
ルース・L・レンランド姉妹

レンランド長老は  
十二使徒定員会会員です

# 聖餐という すばらしい賜物

聖餐を受け、救い主を思い起こすときに、  
自分が新たな者になれるように祈ってください。

20 17年4月に、わたしたちは、同年5月21日の奉獻に先立ってフランス・パリ神殿の一般公開を手伝う機会がありました。神殿の敷地内には、美しいキリスト像があります。デンマークの彫刻家ベルテル・トルバルセンが1838年に制作したオリジナルの名作を複製したものです。この像は庭で人の目を引き、訪れるすべての人にイエス・キリストを信じるわたしたちの信仰を宣言しています。その威厳と大きさ、背景は人の心を捉えます。訪れる人々はこの復活された主の像に引き付けられ、立ち止まってよく写真を撮ろうとします。

その像はしばしばキリストス・コンソロールと呼ばれます。コンソロールとは、「慰めを与える方」という意味です。<sup>1</sup> コンソール (console) には、悲しむときや落胆するときに人を慰める、ほかの人に慰めを与える、理解を示す、同情する、あるいは思いやりを示すという意味があります。<sup>2</sup> このキリストス (キリスト像) は、救い主のこの神聖な特質をわたしたちに伝えてくれます。

キリストス・コンソロールのオリジナル像は、デンマーク、コペンハーゲンの *Vor Frue Kirke* (聖母教会) にあります。そのキリストスは十二使徒の像に囲まれて、円柱のあるアルコーブ (訳注: 壁面の一部をくぼませて作った空間) の中にあります。その



デンマーク、コペンハーゲンの聖母教会にあるキリストス・コンソロール

像の上部と下部に、聖書の中のよく知られた節の刻文があります。

二つの円柱の上部の梁の最上部には、デンマーク語で次のような言葉が刻まれています。「DENNE ER MIN SØN DEN ELSKELIGE HØRER HAM」, つまり「これはわたしの愛する子である。これに聞け」という意味です。

これは、イエスがある山でペテロとヤコブ、ヨハネの前で変貌されたときに天の父なる神により告げられた言葉です。その節の全文はこうです。「すると、雲がわき起って彼らをおおった。そして、その雲の中から声があった、『これはわたしの愛する子である。これに聞け。』」(マルコ 9:7)

また、キリストス・コンソロールが立っている台座には、デンマーク語で次の言葉があります。「KOMMER TIL MIG.」すなわち、「わたしのもとにきなさい」です。救い主が語られたすべての言葉の中で、「わたしのもとにきなさい」という言葉以上に、人に呼びかける力のある重要な言葉はありません。

その節の全文はこうです。「すべて重荷を負うて苦労して

いる者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ 11:28)

独り子に聞くようにという御父の招きと、御自分のもとに来るようにという御子の招きの両方の言葉が、キリストス・コンソロールのオリジナル像に添えられています。その両方が完全に一つとなって、聞き、そして来るようすべての人を招いています。

これが天の家に帰る方法なのです。「わたしたちは、キリストの贖罪により、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得ると信じる。」(信仰箇条 1:3) 人はそれぞれ、回復された福音を受け入れることによってのみ、十分にイエス・キリストのもとに来ることができます。わたしたちは、「イエス・キリストとキリストの贖いを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物を受けること、最後まで堪え忍ぶことを通して、……回復された福音を受け入れ」ます。<sup>3</sup>

### キリストの教義

これが御父と御子の統一のメッセージです。天の御父の

	2 ニ ー フ ァ イ 31 章	3 ニ ー フ ァ イ 9 章	3 ニ ー フ ァ イ 11 章	3 ニ ー フ ァ イ 27 章	合 計
信 仰	1	2	4	1	8
悔い改め	5	4	4	3	16
バプテスマ	10	0	13	3	26
聖 霊	8	2	6	1	17
堪え忍ぶ	3	0	0	3	6
御父(または父)	14	5	20	25	64

すべての子供がキリストの教義に従うことを御二方は望んでおられます。ところで、誤解がないよう一応断っておきますが、「キリストの教義」という言葉はキリストの福音と同じ意味です。

キリストの教義に関して御父と御子のメッセージが一致していることを強調するため、上の表を見てください。

ここに挙げた章(2 ニーファイ 31 章; 3 ニーファイ 9 章; 3 ニーファイ 11 章; 3 ニーファイ 27 章)にはキリストの教義が含まれていることが分かります。これらの章では、信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊、ならびに最後まで堪え忍ぶことが度々述べられています。右の数字は、それぞれが述べられている回数〔訳注：言葉の数だけでなく、概念も含む数〕を集計したものです。見て分かるように、信仰が 8 回、悔い改めが 16 回、バプテスマが 26 回、聖霊が 17 回、最後まで堪え忍ぶことが 6 回です。

しかし意外かもしれませんが、これらの章には御父のことが何度も述べられていることも分かります。実に具体的に言えば、御父のことはバプテスマよりもはるかに多く、64 回述べられています。<sup>4</sup> このことから、キリストの教義は御父と

御子の御二方の教義であることが分かります。

さらに幾つか、御父についてもっと詳しく見てみましょう。

「御父は言われた。『悔い改めよ。悔い改めよ。わたしの愛する子の名によってバプテスマを受けよ。』

また、御子の声がわたしに聞こえて言われた。『父は、わたしの名によってバプテスマを受ける者に、わたしに授けてくださったと同じように聖霊を授けてくださる。それゆえ、わたしに従い、わたしが行くのを見たそのことを、あなたもたも行いなさい。』……

わたしはまた、御父がこう言われる声を聞いた。『まことに、わたしの愛する者の言葉は真実であり、確かである。最後まで堪え忍ぶ者は救われる。』(2 ニーファイ 31:11 - 12, 15)

御父と御子と聖霊は、これが唯一の道であることを証しておられます。

マタイの言葉をそのまま繰り返して、御父と御子は、キリストのもとに来て、キリストのくびきを負うようわたしたちに告げておられます。わたしたちが負っている重荷は軽くされ、そして休みが与えられるからです。わたしたちは皆、重荷を負っています。罪、悲しみ、依存症、病気、罪悪感、あるいは恥という重荷を負っているかもしれません。これらの難しい状況の中で、キリストに頼ることにより、癒しと希望と慰めがもたらされます。

キリストの教義——信仰と悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物——は、1 回だけ経験するよう意図されているものではありません。わたしたちの神学では、わたしたちは、キリストの教義と功德に繰り返し「ひたすら頼[る]」ことによって完全になると教えられています(2 ニーファイ 31:19)。すなわち、生涯にわたってキリストの教義に従う歩みを繰り返すということです。前の一步に次の一步を積み重ねながら進み、何度も何度も経験するよう意図されているのです。

信仰を働かせると、信仰はさらに強くなります。絶えず悔い改めようと努力するときに、わたしたちは成長します。自ら努力することによって、時折、聖霊を受ける経験を状態から、聖霊を常に伴侶とする状態へと進歩することができます。さらに、人生を歩みながら、イエス・キリストの特質について学び、その同じ特質を伸ばすことができるのです。<sup>5</sup> イエス・キリストのような者になるにつれて、わたしたちは心が変わり、最後まで堪え忍ぶことができるようになります



(例として、2 ニーファイ 31:2 - 21; 3 ニーファイ 11:23 - 31; 27:13 - 21; モロナイ 4:3; 5:2; 6:6; 教義と聖約 20:77, 79; 59:8 - 9 参照)。

キリストの教義のすべての段階を生涯にわたって繰り返し、積み重ねるにはどうすればよいかは、簡単に分かります。しかし、バプテスマについてはどうでしょうか。結局のところ、自分のバプテスマは一度受けるだけです。

### 主の晩餐の聖餐

この疑問に答えるために、十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老による *The Articles of Faith* (『信仰簡条』) という神学の名著をひも解いてみましょう。この書は 1899 年に初版が発行され、これを読んで研究する何世代にもわたる人々の、教会と教会の基本的な教えに関する疑問に答えを与えてきました。

目次を見ると、序章は別として、各章が 13 条にわたる信仰簡条の各条項に対応していることが分かります。<sup>6</sup> 複数の章にわたって述べている条項もありますが、どの章も、信仰簡条の一つの条項に関連した内容を扱っています。

興味深いことに、“The Sacrament of the Lord’s Supper” (『主の晩餐の聖餐』) という題の第 9 章は、聖霊に関する章のすぐ後にあります。<sup>7</sup> タルメージ長老はそれを信仰簡条第

4 条と関連付けています。

第 9 章の初めに、タルメージ長老は次のように書いています。「信仰簡条の第 4 条で詳説したように、福音の原則と儀式について研究する過程で、主の晩餐の聖餐のテーマは、きわめて注目に値するものである。信仰と悔い改め、水と聖霊によるバプテスマの必要条件に従うことによってキリストの教会の会員になったすべての人には、この儀式を守ることが求められるからである。」<sup>8</sup>

この言葉を考えると、タルメージ長老が聖餐を信仰簡条第 4 条と関連付けた理由が分かります。聖餐は、教会の会員に確認された後、すべての人が次に必要とする儀式です。

聖餐は、メルキゼデク神権を受けた後、男性が次に必要とする儀式です。

聖餐は、神殿でエンダウメントを受けた後、個人が次に必要とする儀式です。

聖餐は、結び固めを受けた後、夫婦が次に必要とする儀式です。

聖餐は、わたしたちが次に必要とする儀式です。聖餐は、イエス・キリストを信じる信仰を持ち、罪を悔い改め、生活の中で聖霊の影響力を感じるための鍵です。それがバプテスマの聖約と祝福を新たに作るメカニズムです。

『手引き 第 2 部』には次のように述べられています。



「教会員はしばしば集まって、いつも救い主を覚え、バプテスマの聖約と祝福を新たにするために聖餐を受けるよう命じられている。」<sup>9</sup> では、「どのような祝福があるのですか」と疑問に感じるかもしれません。確かに、聖なる御霊が継続的に授けられることは、バプテスマの祝福です。しかし、最も素晴らしい祝福の一つである、バプテスマの清めの効力も更新されるのでしょうか。

大管長会第一顧問であるダリン・H・オックス管長の次の言葉について考えてみてください。「わたしたちは罪を悔い改めて、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって主のみもとに行き、聖餐を受けるように命じられています。……わたしたちは進んでイエス・キリストの御名を受け、いつも主を覚え、主の戒めを守ることを証明します。わたしたちがこの聖約に従うとき、主はバプテスマの清めの効果を新たにしてくれます。わたしたちは清められ、いつも主の御霊を受けることができるのです。」<sup>10</sup>

しかし、「聖餐は罪の赦しを受ける特有の手段として定められたのではない」ことに注意してください。<sup>11</sup> 言い換えれば、土曜日の夜に故意に罪を犯して、日曜日に一切れのパンを取り、少しの水を飲んで奇跡的に赦されると期待することはできないということです。悔い改めは、深い後悔と罪を捨てることが求められる、もっと入り組んだプロセスです。悔い改めることを計算したうえでの背きは、救い主が忌み嫌われる行為です。

ふさわしい状態で聖餐を受けるとき、わたしたちはイエス・キリストの清めの力にあずかる資格があります。<sup>12</sup> これが「世の汚れに染まら〔ない〕」ように自分自身を保つ方法です（教義と聖約 59：9）。末日聖徒がキリストの教義を繰り返し実践しながら、進歩して完全な者になっていく過程で、主の晩餐の聖餐がバプテスマの次にくるのは、理にかなっています。

わたしたちは、聖餐がバプテスマと聖霊を受けることに続く儀式とされている、この道に従わなければなりません。聖餐を受ける準備として必要なのが、事前の計画と注意です。教会に駆け込んできたり、礼拝堂で携帯メールを送ったり、あるいはそのほかのことに心を奪われていたりしては、聖餐を霊的な経験とすることは期待できません。

ですから、早目に教会に来てください。聖餐の賛美歌が始まったら、救い主と主の贖罪、主の愛、主の思いやりに考

えを集中するようにしてください。聖餐を受け、救い主を思い起こすときに、自分が新たな者になれるように祈ってください。

## ルワンダで学んだ教訓

1994年にルワンダで恐ろしい集団虐殺がありました。60日から90日ほどの間に60万から90万の人々が殺害されたのです。

後に、教会は首都のキガリに支部を設立しました。その支部は、専任宣教師がいませんでしたが、順調に機能していました。2011年、わたしたちがアフリカ南東地域で奉仕していたとき、残念なことに、ルワンダの国での当教会の登記は無効であると分かりました。つまり、違法に教会として活動していたのです。また、教会の集会所として改修した2階建ての建物が、教会の集会所を開くことのできる地区内にないということも分かりました。地域会長会は、地域を担当する十二使徒定員会会員と協議し、支部を閉鎖するという苦渋の決断を下しました。教会員はもう教会の集会のために集まることができなくなりました。

キガリとソルトレーク・シティーと南アフリカのヨハネスブルグの弁護士たちは、問題を解決するために懸命に働き始めました。その間、聖徒たちは、いつになったら集会を再開できるのか尋ね続けました。解決策も進展もないまま数か月が過ぎました。

およそ10か月後、わたしたちは、その聖徒たちを訪問し、元気づけるために、飛行機でキガリへ行きました。行く前に、わたしたちは、毎週、大管長会と十二使徒定員会が開く会議での神殿の祈りのリストにその件を入れてもらうよう依頼しました。

ヨハネスブルグからキガリへ向かう旅に出発する前の火曜日に、驚いたことに、ルワンダ政府がキガリにおける教会の仮登記を認可したという知らせを受け取りました。その後、その週の木曜日に、区画委員会が区画規制の適用除外を許可しました。キガリの聖徒たちは、法を犯すことなく教会の建物が再び集会を開くことができるようになったのです。

これは奇跡的なことでした。会員たちに、日曜日に支部の集会が行われる旨が直ちに知らされました。わたしたちは金曜日に到着すると、教会に来よう会員たちを招きました。日曜日になると、すべての会員——会員の全員——と

多くの友人たちが教会に来ました。彼らは、再び一緒に集りたいという思いを強く持ち、早くからやって来ました。聖餐が祝福されて配られたとき、わたしたちは皆、驚くほどに新たな、爽やかな、清めの気持ちを経験しました。

毎週、聖餐を受けるときにこの同じ気持ちを感じなかったのはなぜだろうかとその聖餐会で考えたことを思い出します。わたしたちは聖徒たちを見回して、彼らが聖餐を受けることに飢え渴いていたことに気づきました。彼らの信仰、熱意、忍耐がわたしたち全員に祝福をもたらしたのです。再度、聖餐を受けるときにはいつも、キガリの聖徒たちとのこの経験を思い出すようにしようと、わたしたちは固く決意しました。また、聖餐を受けることに伴う祝福を切に求めようとも、決意しました。

救い主がニーファイ人の中で聖餐を定められた後、聖餐は主の岩の上に自分自身を築く鍵であると告げられたことを、皆さんは思い出すでしょう。救い主は次のように述べておられます。

「わたしはあなたがたに、これらのことを行う〔すなわち聖餐を受ける〕ようにという戒めを与える。あなたがたはいつもこれらのことを行うならば、わたしの岩の上に建てられているので、幸いである。

しかし、あなたがたの中で、これ以上のこと、あるいはこれに及ばないことを行う者は、わたしの岩の上に建てられておらず、砂の土台の上に建てられているのである。雨が降り、洪水が起り、風が吹いてこれらの者に打ちつけると、彼らは倒れてしまう。」(3 ニーファイ 18:12-13)

聖餐は毎週、日曜日にわたしたちが受けるすばらしい賜物であり、それは、わたしたちが地上で進歩する助けとなるものです。聖餐によって、わたしたちはキリストの教義の重要な要素を経験します。すなわち、それによって、わたしたちはもっと救い主に近づき、自分の生活の中で救い主の愛と救いを体験するのです。わたしたちは、救い主に心を向け続ける助けとなる、毎週のこの時間に感謝しています。

### 「ほかでもないわたしのために」

南アフリカのある友人が、どのようにしてこのことに気づいたか話してくれました。改宗したばかりのころ、ダイアンはヨハネスブルグの郊外にある支部に集っていました。ある日曜日のこと、礼拝堂の構造のせいで、聖餐を配るとき、執

事は彼女の存在に気づきませんでした。ダイアンはがっかりしましたが、何も言いませんでした。別の会員が、この配り漏れに気づき、聖餐会が終わった後で、支部会長に伝えました。日曜学校が始まったとき、ダイアンはだれもない教室に案内されました。

一人の神権者がその部屋に来て、ひざまずき、パンを祝福し、一切れのパンを彼女に渡しました。彼女はそれを食べました。その神権者は、もう一度ひざまずくと、水を祝福し、小さなカップを彼女に渡しました。彼女はそれを飲みました。ダイアンは立て続けに二つの思いを抱きました。一つは、「ああ、彼〔神権者〕は、ほかでもないわたしのためにこのことを行ってくれた」、もう一つは「ああ、あの御方〔救い主〕が、ほかでもないわたしのためにこのことを行ってくださった」という思いです。聖餐によって、ダイアンはほかでもない自分に対する天の御父の愛を感じたのです。

救い主の犠牲は、ほかでもない自分のために行われたのだと気づくことによって、彼女は救い主を身近に感じるようになりました。そして、日曜日だけでなく、毎日、その気持ちを心に留めておきたいという圧倒されるほどの望みが生まれました。会衆の中に座って聖餐を受けてはいても、毎週日曜日に更新する聖約は個人的なものだということに彼女は気づきました。聖餐を受けることで、ダイアンは神の愛の力を感じ、主の御手が自分の生活に差し伸べられていることを理解し、救い主にさらに近づくことができました。それは今も続いています。<sup>13</sup>

モロナイが勧めているように、わたしたちも同じことを勧めます。

「まことに、キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい。神の御心に添わないものをすべて拒みなさい。もしあなたがたが神の御心に添わないものをすべて拒み、勢力と思いと力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる。そしてあなたがたは、神の恵みによりキリストによって完全になれば、決して神の力を否定することができない。

さらにあなたがたは、神の恵みによりキリストによって完全になり、神の力を否定しなければ、神の恵みによりキリストによって聖められる。それはキリストの血が流されたことによるものである。キリストの血が流されたのは、あなたが



たの罪の赦しのために御父が聖約されたことによるものであり、それによってあなたがたは染みのない清い者となるのである。」(モロナイ 10 : 32 - 33)

聖餐をバプテスマと聖霊を受けることに続く儀式と見なし、キリストの教義を生活に取り入れるときに、このことが起こります。このようにして、わたしたちは「人を救う力を備えておられるこの御方の功德にひたすら頼[る]」ことができるのです(2 ニーフай 31 : 19)。わたしたちは聖餐に深く感謝しています。それによって、救い主がわたしたちのために行ってくださったことを、毎週学び、思い出すことができるのです。救い主に深く感謝しています。救い主はほかでもないわたしたち一人一人のため贖ってくださったことを知っているからです。

救い主がニーフай人に語られたとき、雨が降り、風が吹き、洪水が起こると言われました。もしもそのようなことがあれば、とは言われませんでした。実際に、すべての人が雨と風と洪水を経験します。しかし、主が言われたように、わたしたちが救い主の岩の上に建てられる方法は、聖餐を受けるときに主に心を向けることです(3 ニーフай 15 : 9 ; 18 : 1 参照)。

皆さんはそれぞれの生涯の中で、教会に行き聖餐を受けることをためらう時が来るでしょう。これまでにそのよう

なことがなくても、これから先にあるでしょう。しかし、このことを知っておいてください。救い主の指示に従い、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって聖餐を受けるならば、数々の祝福が注がれます。それによって、皆さんは堅くしっかりと支えられ、堅固な土台すなわちイエス・キリストの上に築かれるのです。それを行おうとする皆さんの決意は、永遠に影響を及ぼします。皆さんは、信仰の導き手であり完成者であるイエス・キリストの上に自分自身を築くことになるでしょう。■

2017年9月26日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校のデイポーショナルで行われた説教“Comeun to Christ”(「キリストのもとに来なさい」)から。詳しくは次のウェブサイトへ [byui.edu/devotionalsandspeeches](http://byui.edu/devotionalsandspeeches)。

#### 注

1. See Merriam-Webster's Collegiate Dictionary, 11th ed. (2003), "consolator."
2. See Merriam-Webster's Collegiate Dictionary, "console."
3. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』1
4. 「御自分」という言葉を含む
5. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』第6章, 115 - 126 参照
6. See James E. Talmage, *The Articles of Faith*, 12th ed. (1924), v-ix.
7. See Talmage, *Articles of Faith*, vi.
8. Talmage, *Articles of Faith*, 171.
9. 『手引き 第2部——教会の管理運営』2.1.2
10. ダリン・H・オークス「キリストの特別な証人」『リアホナ』2001年4月号, 14
11. Talmage, *Articles of Faith*, 175.
12. ダリン・H・オークス「聖餐会と聖餐」『リアホナ』2008年11月号, 17 - 20 参照
13. デール・G・レンランド「わたしはすべての人をわたしのもとに引き寄せた」『リアホナ』2016年5月号, 41 参照

# デジタルの世界で 礼拝する

教会機関誌

アダム・C・オルソン

**あ**る日曜日、聖餐が配られている間に、知り合いのワード扶助協会会長がスマートフォンを取り出して、「生けるキリスト——使徒たちの証」を読んでいた。彼女は救い主についての預言者の証に霊を鼓舞され、救い主を常に覚えるという約束を新たに心に刻みました。

ところが数日後、ワード会員からの匿名の手紙を受け取って、その日の良い気持ちは溶け去ってしまいました。手紙の主は、聖餐会中にスマートフォンをいじるという悪い模範を見せたと言って彼女を批判しました。彼女は衝撃を受けました。

携帯機器を使うことでだれかに不快な思いをさせるつもりはまったくありませんでした。彼女は、適切だと感じた場合を除いて、礼拝堂の中で携帯機器を使うことはめったにありませんでした。しかし、この手紙を受け取ってから、彼女は自分を疑うようになりました。

## 新しい問題

どの世代にも、それぞれの問題があります。ある研究によると、2020年には、携帯電話を所有する人数（54億人）の方が水道設備を所有する人数（35億人）よりも多くなると予想されています。<sup>1</sup> タブレットに加えて、「ファブレット」（大型スマートフォン）等の通信機器を取り扱う際には、次の疑問に悩む世界に足を踏み入

れることとなります。適切な「デジタルエチケット」とは何か、という疑問です。

両親、指導者、教師が教会における適切なデジタルエチケットを決定するのに苦労している中、様々な意見があるために、教会の集会におけるデジタル機器の扱いについて相反する方法に至ることがあります。

教会指導者は、テクノロジーを使うことの祝福と危険について勧告してきました。しかし教会指導者は、福音に沿った生活においてなすべきこととそうでないことを、常に具体的に指示するわけではありません（モーサヤ4:29-30参照）。会員は、その件について自分自身で研究し、判断する際に聖霊の導きを求めるよう期待されています。残念なことに、上記のような状況において、わたしたちは時折、他人と異なる見解を持つだけでなく、異なる見解を持つ人に批判的な態度を執ることがあります。

## 靈感は神から、悪用はサタンから

神はわたしたちのため、また御業を進めるためにテクノロジーという祝福を与えてくださいました。<sup>2</sup> ですから、一部の会員がデジタル機器を不適切に用いる一方で、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、「間違いを恐れて、これらのツールがもたらす素晴らしい祝福を受けることを控えないよう」と教えています。<sup>3</sup> わたしたちはそれらの機器を適切に用い、子供たちにもそうするよう教える必要があります。





礼拝堂内で  
機器を適切に  
利用するための、  
3つの原則について  
考えてみましょう。

携帯機器は教会員が福音を研究し、家族歴史や神殿の業を進め、福音を伝える助けとなります。例えば、2018年1月には300万人以上が福音ライブラリアアプリを利用しました。その学習時間の合計は、1,000年以上に相当します。

教会指導者は祝福を挙げるとともに、携帯機器に伴う可能性のある危険についても警告しています。例えば、時間を浪費し、関係を損ない、罪のわなにはまる可能性があるとして警告しています。<sup>4</sup> 教会における不適切な機器の使用は、自分やほかの人が、神との関係を育むうえで重要な礼拝と学習を妨げます。

しかし、そのような危険はデジタル機器に限ったものではありません。「これらの手段もしくは道具は、……訓練を受けずに、あるいは規律のないままに使うと危険なことになりかねません」と十二使徒定員会会長代理のM・ラッセル・バラード会長は教えています。「……それは、テレビや映画、あるいは書籍をどう利用するかということと何ら違いはありません。サタンはいつも新しい発明品の持つ否定的な力に飛びつき、人を汚し、墮落させ、善への影響力を消し去ろうとしています。」<sup>5</sup>

#### 聖餐会における携帯機器

こういったデジタル機器がもたらす祝福と妨げの可能性について考えると、会員は機器の扱い方をどのように決定すればよいので

しょうか。ジョセフ・スミスは、原則に基づいた扱い方の持つ力についてこのように述べています。「わたしは人々に正しい原則を教えて、自らを治めさせます。」<sup>6</sup>

ではここで、聖餐会で携帯機器を使うことについて決定するうえで役立つ幾つかの原則を詳しく見ていきましょう。教室におけるデジタル機器の適切な使用に関する話については、中央日曜学校会長会第二顧問、ブライアン・K・アシュトン兄弟の記事「テクノロジーを使って教えるーデジタルの世界において青少年の参加を促す」を参照してください。

### 原則1——わたしの選択は礼拝の助けとなる

聖餐会は、「いと高き方に礼拝をささげる」ためのものです(教義と聖約 59:10)。大管長会第一顧問のダリン・H・オークス長老は、聖餐会では、聖約の更新と、主イエス・キリストとその贖罪を信じる信仰に焦点を当てるべきであると教えています。<sup>7</sup> 聖餐会中に行うことは、それらのことを行う助けとなるべきです。

それらの焦点を念頭に置くと、必要に応じて次の目的で適切に機器を用いることがあるかもしれません。

- **礼拝の質を高める。** 聖餐会中に、聖文を調べる、賛美歌を歌う、霊的な印象についてメモを取る、などの目的でデジタル機器を使うことがあるかもしれません。
- **仕え、導く。** あるビショップが聖餐会中に、新会員やあまり活発でない会員が礼拝堂の後ろからそっと入って来たことに気づきます。そこでワード伝道主任に携帯メールを打ち、その人を歓迎し、聖餐会後に福音の原則クラスに招待するよう伝えるかもしれません。
- **必要不可欠な接続を保つ。** 医師や初期対応者〔訳注：消防士や警察官など〕をはじめとするオンコールの専門家は、必要に応じて携帯機器を通していつでも連絡を受けられることが分かっているため、礼拝行事に参加することができます。

救い主に焦点を当てようとするときに、機器は学習の助けにはなりますが、自分に代わって学習はできないことを

覚えておくことが大切です。機器は考えるための内容を与えてはくれますが、自分に代わって考えてはくれません。祈ることを思い出させてくれますが、祈りは自分自身で行わなければなりません。

ベドナー長老は、神との関係は現実のものであってバーチャルではない、と教えています。<sup>8</sup> ダブルクリックやダウンロードはできないのです。<sup>9</sup> ですから、この記事の冒頭に出てきた扶助協会会長は、思いをキリストに向けるために電話を使いましたが、電話と聖約を新たにしていたわけではなく、主と聖約を新たにしていたのです。携帯機器をきっかけに始まった彼女の旅は、思いと祈りと行いで終える必要があったのです。

### 原則2——じゃまになるものを最小限に抑える

わたしたちは皆、礼拝と学習にさらに焦点を当てる助けとなる環境を整えるよう努力するべきです。じゃまになるものを最小限に抑えることは重要です。この原則は、多くの状況に当てはまります。会話の仕方から、ぐずっている子供のあやし方、デジタル機器の使い方までです。

機能をたくさん備えた機器によって注意をそらされる方法は実に多くあります。もちろん、動画を見たり、音楽を聴いたり、ゲームをしたりすれば、聖餐会に注意を払うのが困難になります。しかしそれだけではなく、Eメールや携帯メール、ソーシャルメディア、スポーツの試合のスコア、様々なお知らせを確認することも同様です。集会外の出来事や関連事項や会話に引き寄せられてしまいます。こういったことは、自分だけでなく違う列に座っている人たちの注意までもそらしてしまうことがあります。

デジタル機器による妨害を完全に排除したい人は、機器を自宅に置いてくるか、電源を切っておくことが適切でしょう。礼拝の助けとして機器を使うけれども人の注意をそらすことを避けたい人は、機器の音声を消したり、サイレントモードに設定したり、機内モードにしたりするだけで十分かもしれません。<sup>10</sup>

### 原則3——自分の礼拝に集中する

気をそらす何らかのものは常に存在し、そのすべてがデ



デジタルというわけではありません。例えば、ぐずっている子供や虫の音、外を行き交う車の騒音などです。礼拝から何を得るかについては、まず、わたしたち自身に責任があるのです。ですから、だれかが電話を機内モードに設定するのを忘れても、わたしたちは自分自身を「注意をそぐものを無視する」モードに設定しようと努める必要があります。

ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように教えています。「聖餐会でどれだけ豊かに霊的なものを得られるかは、教会の各会員に責任があります。」<sup>11</sup>

周りの人が機器を使っているのに気づいたら、それがデジタル機器だというだけでその人が不適切なことを行っていると思いたないように注意する必要があります。機器の使用が子供であったり、自分が仕えるよう責任を受けている

対象である場合は、御霊の導くままに、どのように使っているかを確認することが適切な場合もあるでしょう。そうでなければ、自分の礼拝に戻ろうと努めます。

### ともに学ぶ

オークス管長はこれらの原則を包含する勧告を次の言葉で表しました。「聖餐会の間、特に聖餐の儀式の間は、礼拝に集中し、ほかのどんな行為も控えるべきです。特に、ほかの人の礼拝を妨げる恐れのある行為は控えます。」<sup>12</sup>

機器の使用の指針となる原則はほかにもたくさんあります。デジタル機器がますますわたしたちの文化の標準的な一部となるにつれ、わたしたちは何が適切なのかという疑問にともに取り組みむ必要性が増すでしょう。状況はそれぞれに異なり、テクノロジーは変化し続ける、わたしたちは絶えず自分自身の使用について吟味し、新たな視点や異なる視点を検討し、進んで人を赦しながらともに学ぶ必要があります。■

### 注

1. See "10th Annual Cisco Visual Networking Index (VNI) Mobile Forecast Projects 70 Percent of Global Population Will Be Mobile Users," Feb. 3, 2016, [newsroom.cisco.com](http://newsroom.cisco.com)
2. See David A. Bednar, "Apostle Offers Counsel about Social Media," *Ensign*, Jan. 2015, 17; *Discourses of Brigham Young*, sel. John A. Widtsoe [1954], 18–19
3. In Sarah Jane Weaver, "Elder Bednar Tells 2016 Mission Presidents Not to Fear Technology," July 6, 2016, [news.lds.org](http://news.lds.org)
4. See "Elder Bednar Tells 2016 Mission Presidents."
5. M・ラッセル・バラード「インターネットを用いて福音を分かち合う」『リアホナ』2008年6月号、チャーチ・ニュース、2
6. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』284
7. ダリン・H・オークス「聖餐会と聖餐」『リアホナ』2008年11月号、17–20
8. デビッド・A・ベドナー「現在のことをありのままに」『リアホナ』2010年6月号、22–31
9. See Scott D. Whiting, "Digital Detachment and Personal Revelation," *Ensign*, Mar. 2010, 16–21
10. M・ラッセル・バラード「静まって、わたしこそ神であることを知れ」(教会教育システムディボーションナル、2014年5月4日)、[lds.org/broadcasts](http://lds.org/broadcasts) 参照
11. ラッセル・M・ネルソン「聖餐会での礼拝」『リアホナ』2004年8月号、14
12. ダリン・H・オークス「聖餐会と聖餐」18–19



中央日曜学校会長会  
第二顧問  
ブライアン・K・  
アシュトン

# テクノロジーを使って教える —— デジタルの世界において 青少年の参加を促す

クラスにおいて、テクノロジーを敵ではなく味方につけるには  
どうすればよいでしょうか。

**教** 会の様々なワードやステークを訪問すると、青少年の教師と指導者から度々このように尋ねられます。「デジタル機器がクラスの妨げにならないようにするには、どうすればよいでしょうか。」一方で、わたしが目にしてきた最高の青少年クラスの教師の多くは、レッスンの導入でこのように言っていました。「スマートフォンを出して、これを調べてください。」これらのことから、青少年が福音を学ぶクラスで、義にかなった、実りある方法でテクノロジーを使えるよう助けることについて、わたしが学んできたことをお話ししたいと思います。

## テクノロジーに関する預言

預言者と使徒は、テクノロジーの祝福について語り、テクノロジーは御業をますます速いスピードで前進させる助けとして、御父が与えてくださったものだと述べています。1862年に、ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は次のように教えました。「科学や芸術のすべての発見は確かに真理であり、人類にとって有益ですが、それらは神からの直接の啓示により与えられたものです。……それらは、究極の真理が勝利を収め、地球が罪とサタン力から贖われるための道を備えるという観点から与えられたものなのです。わたしたちは、そのようなすばらしい発見……をすべ

て活用すべきであり、また、わたしたちの子供たちがさらに前進し、偉大な業において自分たちの役割をよりよく果たすことができるように、全分野にわたって、彼らに有益な知識を与えるべきです。」<sup>1</sup>

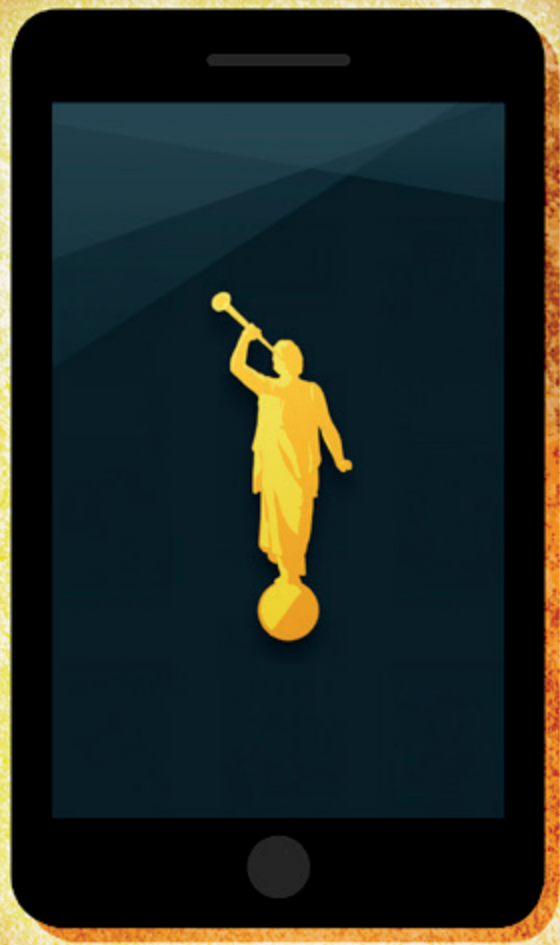
## デジタル機器を義にかなった活動のために用いる

わたし自身、これまで聖典や、福音ライブラリー携帯アプリのリソースを活用することにより、福音の研究が大きく改善されてきました。

青少年は日々の生活の中で、また専任宣教師として、テクノロジーを使って福音を学び、教え、宣べ伝える備えをしてきました。その活用方法は、まだ分かり始めたばかりです。敵は、良質で役に立つあらゆる発明を不義な目的のために使おうとするため、両親、指導者、教師であるわたしたちは、青少年がテクノロジーを義にかなった、実りある方法で使えるように、若いころから助ける責任を負っています。

家庭は、それを行う最善の場所です。（役立つリソースをお探しの両親の皆さんは、サイドバー〔訳注：教会公式ウェブサイトの中の項目〕にある教会資料の活用を検討してもよいでしょう。）福音のレッスンは、青少年がデジタル機器と義にかなった活動を結びつけ、聖霊を感じられるようにする、重要な機会となります。教師や指導者がそれを実現するた







めに役立つ方法をいくつか紹介します。

### 原則を基に、期待する事柄を設定する

原則を基に、クラスにおけるテクノロジーの使用に関して期待する事柄を設定します。重要な原則としてこのようなものが挙げられるでしょう。「レッスンの目的は、聖霊を通して福音を学ぶことです。デジタル機器の使用はこの取り組みに役立つものであるべきで、妨げとなってはいけません。」これは、次のようなルールよりもはるかに効果的です。「レッスン中はソーシャルメディアにアクセスしない。」このルールは、ソーシャルメディアは悪いものだというメッセージを送っていますが、上の原則は、レッスン中にソーシャルメディアを適切に使う可能性を残しています。例えば、欠席した人に、いなくて寂しかったことを伝え、翌週来るよう招くなどの方法で手を差し伸べることができます。

実際は悪くない行いを悪いかのように伝えるルールを作ることによって、青少年を傷つけてしまいます。ほかの場面でのテクノロジーの使用について混乱を招き、テクノロジーの適切な使い方を教える機会を逃してしまいます。青少年の助けを得ながら、クラスで期待される事柄を定めるときには、生徒の年齢と成熟度に応じた内容にするべきです。

### テクノロジーについて知る

テクノロジーに対するあなたの恐れや理解不足のせいで、青少年がデジタル機器を適切な方法で使うのを妨げないようにしてください。あるワードでは、福音を学ぶためのデジタル機器の使い方について、教師を訓練したと報告していません。教師はテクノロジーを使いこなせるようになるにつれ、福音を学ぶためにデジタル機器を活用することに積極的にになり、デジタル機器がレッスンの妨げとなるという問題はおおむねなくなったそうです。

### レッスンを対話型にする

わたしは、生徒がテクノロジーを正しく使えるよう助ける最善の方法は、レッスンを対話型にし、デジタル機器をレッスン計画に組み込むことだと気づきました。教師が靈感あふれる質問をし、生徒がレッスンに積極的に参加し、教師に愛されていると感じ、聖霊が感じられるクラスにおいて、生徒が不適切に携帯電話を使っているのを目にしたことはほとんどありません。

そのようなクラスでは、教師はレッスンの冒頭で靈感あふれる質問を青少年にしてから、多くの場合少人数のグループで、聖典と預言者の言葉から質問の答えを探させることがよくあります。レッスン中、教師は何度も聖典を開かせて、総大会の説教を研究し、教会が製作したビデオを視聴し、学んでいることについて話し合うよう生徒たちに言います。生徒が学習過程に携わるほど、デジタル機器を適切に使う可能性は高まります。

### バランスを取る

テクノロジーをレッスンに組み込む場合、テクノロジーをバランスよく使用する必要性を心に留めておくことが重要です。テクノロジーがレッスンそのものにならないよう、また聖霊を感じる妨げとならないよう注意しなければなりません。

さらに、デジタル機器を持っていない生徒もいるので、取り残されたように感じさせてはなりません。教会が製作したビデオを視聴するのを除いて、デジタル機器を使ってクラスでできる活動は、活字版の聖典や教会機関誌を使ってでもできるものでなければなりません。

さらに、デジタル機器が適切でない時があります。例えば、生徒や教師が証を述べているときには、携帯電話をしまい、御霊が教えてくれることを感じるよう、教師が愛情を込めて生徒に勧めることは道理にかなっていません。

### 忍耐を示す

最後に、一部の青少年は、クラスの中でデジタル機器を適切に使うことを学ぶのに時間がかかるかもしれないことに留意しましょう。どのようなクラスにおいてもキリストのような教師は、苦勞している人に対して愛をもって忍耐を示します。

### テクノロジー——脅威ではなく、高めるもの

青少年が適切にテクノロジーを使えるよう助けることは、生涯にわたり青少年の祝福となり、クラスを高めることにもつながります。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老（1928 - 2015 年）は、このように述べています。「義にかなった目的で理解され使用されるならば、技術は脅威にはならず、霊的なコミュニケーションを高めるものとなります。」<sup>2</sup>

わたしたち中央日曜学校会長会は、テクノロジーをレッスンに取り入れ、青少年が正しい目的でテクノロジーを使える

よう助けるために全力を尽くすよう、教師にお勧めします。皆さんの取り組みを助けてくださるよう天の御父に求めるならば、御父はその祈りにこたえてくださるでしょう。■

#### 注

1. *Discourses of Brigham Young*, sel. John A. Widtsoe (1954), 18 - 19.
2. リチャード・G・スコット「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号、30

### テクノロジーを適切に使う

ブライアン・K・アシュトン兄弟は、家庭はテクノロジーを適切に使うことを学ぶ最適な場所だと述べています。以下のリソースは、個人や両親、家族が、既存のテクノロジーを適切に使う方法を定めるうえで役立つでしょう。

- 『テクノロジーを使用するための保護策』は宣教師向けに書かれた小冊子ですが、その指針は家庭にも応用できます。28か国語に翻訳されており、福音ライブラリアプリアから、あるいは配送センター、オンラインストアを通して印刷物として入手できます。
- 良いメディアを選ぶことを含め、ポルノグラフィを避けることについての家庭のタペのレッスンの一覧が、「イエス・キリストの贖いを通してポルノグラフィを克服する」[overcomingpornography.org/resources](http://overcomingpornography.org/resources)に掲載されています（10か国語に翻訳されています）。
- ソーシャルメディアに関する家族の話し合いの指針については、次の記事で採り上げられています。「家族で話し合うべきこと—ソーシャルメディアを正しく使用する方法」[lds.org/go/818333a](http://lds.org/go/818333a)（10か国語に翻訳されています）。または十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の記事「ソーシャルメディアによって洪水のごとくに世界を満たす」『リアホナ』2015年8月号。



## 第 6 章

# 神の 賜物と力

これは、『聖徒たち——末日におけるイエス・キリスト教会の物語』という、4巻にわたる新しい教会歴史物語の第6章です。この物語は、14の言語で、印刷物および「福音ライブラリー」アプリの「Church History (教会歴史)」の項や、[saints.lds.org/jpn](http://saints.lds.org/jpn) で読めるようになる予定です。7月号で公開された第5章では、1828年に失われたモルモン書の翻訳の最初の116ページについて述べられています。

**18** 28年の夏、ジョセフがハーモニーに戻ると、モロナイが再び訪れて金版を持ち去りました。天使はこう告げます。「あなたが十分にへりくだり、悔い改めていれば、9月22日に再びこれらを手にするであろう。」<sup>1</sup>

暗闇がジョセフの心に迫るかのようでした。<sup>2</sup> 神の御心を無視し、原稿をマーティンに託してしまったのは間違いだと分かっていたからです。今や神はジョセフに金版を預けることもなく、翻訳者としても信頼できないとしたのです。ジョセフは、天からどのような罰が下ろうとも自分はそれに値すると感じていました。<sup>3</sup>

罪悪感と後悔にさいなまれたジョセフは、ひざまずいて罪を告白し、赦しを乞い求めました。どこで間違ってしまったのか、そして、もし主が再び翻訳をさせてくださるのなら、どこを改めればよいのかと思い巡らしました。<sup>4</sup>

7月のある日、自宅近くを歩いていると、モロナイが現れました。天使モロナイはジョセフに解訳器を渡します。そこには神からのメッセージが書かれていました。「神の業と計画と目的がくじかれることはあり得ず、またそれらが無に帰することもあり得ない。」<sup>5</sup>

その言葉に安堵するも、すぐ後に叱責の言葉が続いていました。「あなたに与えられた戒めは何と厳しかったことか。」主は語られました。「あなたは人を神よりも恐れてはならなかった。」主はジョセフに、聖なるものをいっそう注意深く扱うよう命じられたのです。金版に刻まれた記録は、マーティンの評判や人々を喜ばせたいというジョセフの望みよりも、はるかに重要なものでした。主は、御自分のいにしへの聖約を新たにし、イエス・キリストに頼って救いを得るようすべての人に教えるべく、その記録を備えられたのです。

主は御自身の憐れみを忘れないようにとジョセフに促し、「あなたが行ったこと……を悔い改めなさい」と命じられました。「そうすれば、あなたはまだ選ばれた者である……」主は再び、ジョセフを預言者、聖見者として召されましたが、主の言葉をよく心に留めるよう警告し、こう宣言されました。

「それらを行わなければ、あなたは見放されてほかの人々と同様になり、もはや賜物を持つことはなくなるであろう。」<sup>6</sup>

その秋、ジョセフの両親はハーモニーに向かい南下しました。マンチェスターの家を出てから2か月近くたつのに、ジョセフから何の便りもなかったからです。二人はその夏の悲劇により、ジョセフが悲しみに沈んでいるのではないかと心配していました。ジョセフはわずか数週間のうちに、自分の最初の子供を亡くし、妻を失いそうになり、さらには原稿を無くしたのです。二人はジョセフとエマが元気にやっ



ることを確かめたいと思いました。

目的地まで残り2キロ弱という所で、ジョセフが穏やかで幸せそうに道の前方に立っているのを目にし、ジョセフ・シニアとルーシーは大喜びしました。ジョセフは、神からの信頼を失ったこと、その後罪を悔い改め、啓示を受けたことを両親に話しました。主の叱責は胸を刺すものでしたが、古代の預言者と同様、人々が読めるようにジョセフはその啓示を書き留めたのでした。それは、ジョセフが自分に与えられた主の言葉を記録した最初のものでした。

ジョセフはまた、その後モロナイが訪れ、版と解訳器を戻してくれたことも両親に伝えました。天使は喜んでいただたとジョセフは話しています。「主は、忠実さと謙遜さのゆえにわたしを愛してくださっていると、天使が教えてくれたのです。」

記録は家のトランクの中に隠され、安全に保管されていました。「今はエマが筆記してくれていますが、天使は主がわたしに筆記者を送ってくださると言いました。わたしはそうなると思っています」ともジョセフは両親に話しています。<sup>7</sup>

翌年の春、マーティン・ハリスは悪い知らせを携えてハーモニーにやってきました。彼の妻が裁判所に、ジョセフは金版を翻訳しているふりをしたベテン師だと申し立て、マーティンは裁判でその証人になるべく出頭要請を受けているというのです。ジョセフに騙されたと宣言しなければ、ルーシーはマーティンをも詐欺で訴えると言います。<sup>8</sup>

マーティンは、版の存在を示すさらなる証拠を差し出すようジョセフに詰め寄りました。マーティンは裁判で翻訳に関するすべてのことを話したいと思っていましたが、信じてもら

えないのではないかと心配していたのです。ルーシーはスミス家を検索するも、結局、記録を見つけることはできませんでした。また、マーティンは2か月にわたってジョセフの筆記者を務めました。版を見たことはなく、ジョセフがそれを持っていると証言することもできません。<sup>9</sup>

ジョセフはどうかしたらよいかと主に伺い、友人のために答えを受けました。主は、マーティンが謙遜になって信仰を働かせるまで、法廷で言うべきことを伝えることも、さらなる証拠を与えることもないと言われました。「もし彼らがわたしの言葉を信じなければ、たとえあなた、すなわちわたしの僕ジョセフが、わたしから委ねられたこれらのものをすべて彼らに見せることができたとしても、彼らはあなたを信じないであろう」と主は言われたのです。

しかし、もしジョセフがその夏に行ったように、へりくだり、神を信頼し、犯した過ちから学ぶのであれば、主はマーティンに憐れみを示すと約束されました。主は、時が来れば3人の忠実な証人が版を目にすること、人々から認められようとするのをやめれば、マーティンも証人の一人となることができるであろうと言われました。<sup>10</sup>

主は、最後にこう宣言されました。「もしこの時代の人々がその心をかたくなにしなければ、わたしは……わたしの教会を設けよう。」<sup>11</sup>

ジョセフは、マーティンがこの啓示を書き写す間、これらの言葉について思い巡らしました。それからエマとともに、誤りがないかを確認するため、マーティンが読み返すのを聞きました。読んでみると、エマの父親が部屋に入り、同じく耳を傾けます。聞き終えると、これはだれの言葉かと尋ねました。

「イエス・キリストの言葉です。」ジョセフとエマはそう説明しました。

すると、「すべては妄想だ。もう終わりにするんだ」とアイザックは言います。<sup>12</sup>

エマの父親の言うことは聞かずに、マーティンは啓示の写しを携え、自宅へと向かう馬車に乗り込みました。マーティンはハーモニーに来て版の証拠を求めましたが、そこを発つころには、版の実在を証する啓示を得ていました。裁判でそれを用いることはできませんでした。マーティンは主が自分を御存じであることを確かに知って、パルマイラへと戻ったのです。

そうして判事の前に立つと、マーティンは簡潔ながらも力強い証を述べました。天に拳をかかげ、金版が確かに存在することを証し、主の業を行う目的でジョセフに惜しみなく50ドルを渡したと断言したのです。ルーシーの訴えを証明する証拠はなかったため、裁判所はこの訴えを棄却しました。<sup>13</sup>

一方ジョセフは、主が間もなく別の筆記者を与えてくださるよう祈りながら、翻訳を続けます。<sup>14</sup>

マンチェスターでは、オリバー・カウドリという若者がジョセフの両親の家に寄宿していました。オリバーはジョセフより一つ年下で、1828年の秋、スミス家の農場から南に約2キロの所にある学校で教鞭を執り始めていました。

教師は、生徒の家族のもとに寄宿することがよくありました。ジョセフと金版のうわさを耳にしたオリバーは、スミス家に寄宿できないかと打診してきたのです。初めのうち、スミス一家から詳細を聞き出すことはほとんどできませんでした。原稿を盗まれたことがあり、地元でうわさも立っていたために、スミス家の人々は用心深くなり、口を閉ざすようになっていたからです。<sup>15</sup>

しかし、1828年から1829年の冬の間、オリバーはスミス家の子供たちを教えながら、家族の信頼を得ます。この時期、ジョセフ・シニアは主が驚くべき業を始めようとしておられることを宣言する啓示を携えて、ハーモニーへの旅から戻っていました。<sup>16</sup> またそのころには、オリバーが真心から真理を求めていることが分かっていたため、ジョセフの両親は息子の神聖な召しについて口を開き始めていました。<sup>17</sup>

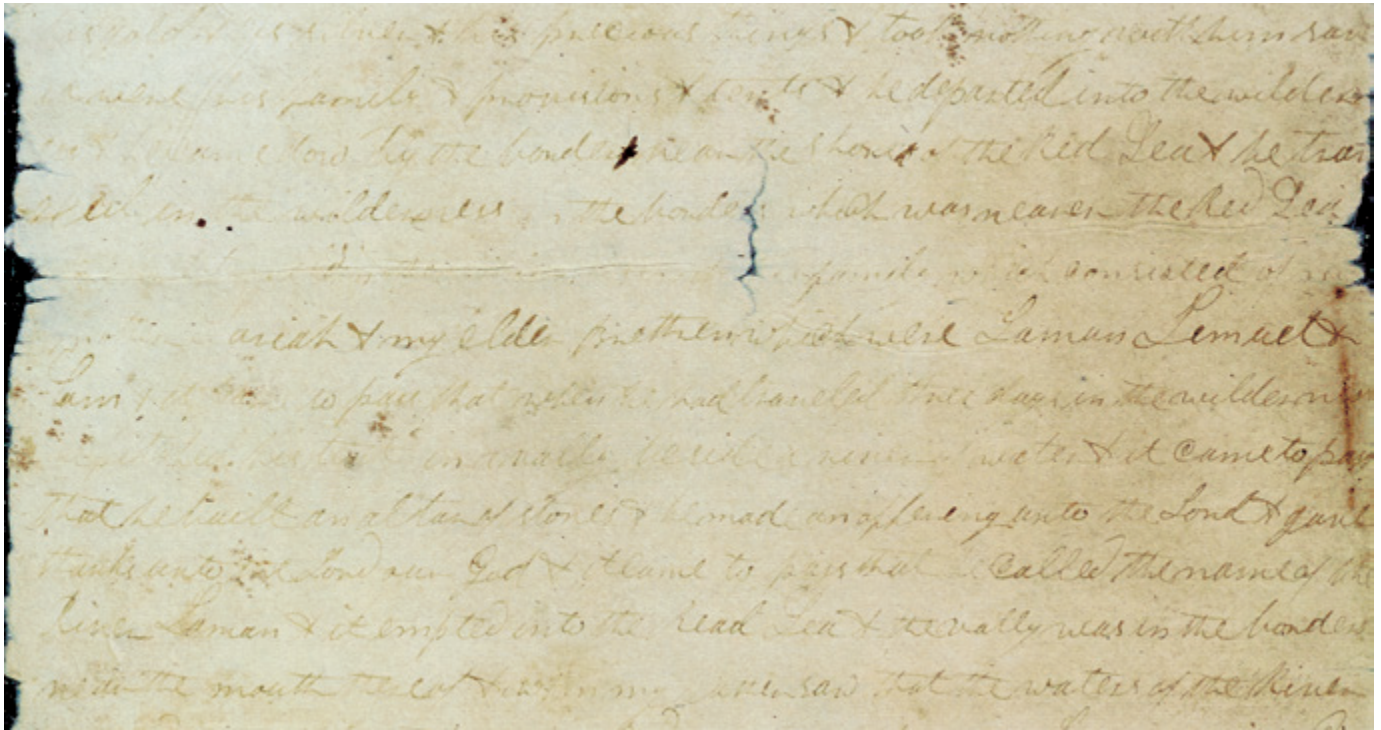
両親が語ったことはオリバーの心を捕え、オリバーは翻訳を手伝いたいと切に願うようになりました。ジョセフと同様、オリバーはその時代の教会に満足しておらず、この時代にあっても人々に御心を明らかにされる奇跡の神がおられると信じていたのです。<sup>18</sup> ところがオリバーはジョセフからも金版からも遠く離れた所にいたため、マンチェスターにいては翻訳の業を助けることはできないと思いました。

ある春の日のこと、雨がスミス家の屋根を激しく打つ中、オリバーはジョセフを助けるため、学期が終わり次第ハーモニーに向かいたいとスミス一家に話しました。ルーシーとジョセフ・シニアは、その望みが正しいかどうか、主に尋ねるようにと強く勧めました。<sup>19</sup>

「……………」

この記録には、  
イエス・キリストについての  
証が繰り返し述べられており、  
オリバーは、  
預言者が古代の教会を導き、  
普通の男女が神の業を  
行うのを目にしました。

「……………」



オリバー・カウドリはモルモン書の翻訳のこのページの筆記者でした。

オリバーは床に就くと、金版についてこれまで聞いてきたことが真実かどうか知るために、一人で祈りました。すると主は、金版とそれを翻訳するジョセフの様子を示現で見せてくださったのです。オリバーは平安な気持ちに包まれ、ジョセフの筆記者になるべきだと確信しました。<sup>20</sup>

オリバーはこの祈りについてだれにも話さず、学期が終わるとすぐ、ジョセフの弟サミュエルとともに、160キロ以上も離れたハーモニーに向けて歩き始めました。春の雨にぬれた冷たい泥道を歩いたオリバーは、ジョセフとエマの住む家の戸口にサミュエルとたどり着いたころには、つま先が霜焼けになっていました。それでもオリバーは、この夫婦に会って、主が若き預言者を通して働いておられることを自分の目で確かめたくてたまりませんでした。<sup>21</sup>

ハーモニーに到着すると、オリバーはまるでずっとそこにいたかのような感覚を覚えました。ジョセフはオリバーと夜遅くまで語り、オリバーの話に耳を傾け、質問に答えます。オリバーが良い教育を受けていることは明らかで、筆記者になりたいという申し出をジョセフは快く受け入れました。

オリバーの到着後、ジョセフがまずしなければならなかったのは、作業場を確保することでした。ジョセフはオリバーに契約書を起草するよう頼みました。エマと一緒に住んでいた小さな家と納屋、農地、近くの泉の代金を、ジョセフが義父に支払うことを約束する契約書です。<sup>22</sup> エマの両親は

娘の幸せを願って、この契約条件に同意し、ジョセフに対する隣人の不安が静まるよう助けることも約束しました。<sup>23</sup>

それと同時に、ジョセフとオリバーは翻訳を始めました。翻訳作業は数週間休みなく順調に進み、エマも同じ部屋にいて日常の家事をこなすことがよくありました。<sup>24</sup> ジョセフは時折、解訳器をのぞいて翻訳し、版に刻まれた文字を英語で読み上げました。

聖見者の石は一つだけ用いる方が扱いやすいと感じることがよくありました。ジョセフは帽子に聖見者の石を入れると、帽子に顔をうずめて光を遮り、石をのぞき込みました。石が暗闇の中で光を放って輝くと、言葉が現れます。それをジョセフが口述し、オリバーが素早く書き写したのです。<sup>25</sup>

ジョセフは主の指示に従い、失われた翻訳原稿の部分を再び翻訳しようとはせず、記録のさらに先をオリバーとともに翻訳し続けました。サタンが悪人たちをそそのかして翻訳原稿を盗み、その言葉を変え、翻訳の信憑性を揺るがそうとしていることを、主は明らかにしてくださいました。しかし主は、版を作成した古代の預言者たちに靈感を与え、失われた部分より詳細な記述のある別の記録を備えておられたのです。これを知ってジョセフは安堵しました。<sup>26</sup>

「わたしは、わたしの言葉を書き変えた者たちを辱めよう」と主はジョセフに言われました。「わたしの知恵が悪魔の狡猾さに勝っていることを彼らに示そう。」<sup>27</sup>

オリバーはジョセフの筆記者として働くことに大きな喜び

を覚えました。来る日も来る日も、ニーファイ人とレーマン人という二大文明に関する複雑な歴史を、友人のジョセフが口述するのに耳を傾けました。義にかなった王と邪悪な王、囚われの身に陥ってそこから救い出された民、また骨に埋まった原野で見つかった記録を翻訳するために、聖見者の石を用いた古代の預言者について知ったのです。ジョセフのように、その預言者は神の賜物と力を持った啓示者であり聖見者でした。<sup>28</sup>

その記録はイエス・キリストについて繰り返し証しており、預言者たちが古代の教会を導いた方法、また、ごく普通の男女がいかにして神の業を行ったかを、オリバーは知ったのです。

それでも、主の業に関してオリバーには多くの疑問があり、その答えが知りたくてたまりませんでした。オリバーのためにジョセフがウリムとトンミムを通して啓示を求めると、主はこたえ、こう宣言されました。「あなたはわたしに求めれば、与えられるであろう。あなたは尋ねるならば、大いなる驚くべき奥義を知るであろう。」

また主は、ハーモニーに来る前に受けた証を思い起こすようオリバーに語られました。その証についてオリバーはだれにも話していませんでした。「わたしはこの件についてあなたの心に平安を告げなかったであろうか。神からの証よりも大いなる証があるであろうか。」主は問いかけられました。「だれも知らない事柄をわたしがあなたに告げたので、あなたは証を得たではないか。」<sup>29</sup>

オリバーは驚きました。そして、自分がひそかに祈り、神から証を受けていたことを直ちにジョセフに告げたのです。神を除いてそれを知る者はいないので、この業が真実であることが分かったとオリバーは言いました。

ジョセフとともに翻訳の作業に戻ると、オリバーは自分にも翻訳ができるのではないかと考え始めました。<sup>30</sup> 神は聖見者の石のような道具を用いて業を行われると信じていましたし、オリバー自身も古い棒を使って水脈や鉱脈を見つけたことがあったのです。しかし、その棒が神の力によって働いていたのかについては確信がありませんでした。啓示を受ける過程は、オリバーにとって依然として謎に包まれていました。<sup>31</sup>

ジョセフが再びオリバーに代わって主に尋ねたところ、主はオリバーが信仰をもって求めるならば、知識を得る力を持ると告げられます。オリバーの使った古い棒は、旧約聖書

に出てくるアロンの杖のように、確かに神の力によって働いたと主は述べられました。また啓示についてオリバーにさらに教え、こう告げられました。「聖霊によって、わたしはあなたの思いとあなたの心に告げよう。さて見よ、これは啓示の霊である。」

主は、オリバーが信仰に頼るならば、ジョセフのように記録を翻訳することができるとも言われました。しかし、「信仰がなければ何も行えないことを覚えておきなさい」と告げられたのです。<sup>32</sup>

この啓示を受け、オリバーは翻訳ができると心躍らせました。ところがジョセフに倣って行ってみたいものの、言葉は容易に出て来ません。オリバーはいらだちと混乱を深めていきました。

ジョセフは友人が葛藤しているのを見て同情しました。

ジョセフが心と思いを翻訳の業に集中させるのには時間を要しましたが、オリバーはそれがすぐにできるようになると考えたようです。霊的な賜物を持つには不十分でした。霊的な賜物を神の業で用いるには、時間をかけて育み、伸ばす必要があったのです。

間もなくオリバーは翻訳を諦め、うまくいかなかった理由をジョセフに問います。

ジョセフは主に尋ねました。「あなたはわたしに求めさえすれば、何も考えなくてもわたしから与えられると思ってきた。……あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうかわたしに尋ねなければならぬ」と主は答えられました。

オリバーは忍耐強くあるよう教えられます。「あなたが今翻訳することは適切ではない。」主はこのように語られました。「あなたが行うように召されている業は、わたしの僕ジョセフのために筆記することである。」主は後に別の翻訳の機会を与えるとオリバーに約束されましたが、現時点でのオリバーは筆者であり、聖見者はジョセフであると告げられたのです。<sup>33</sup> ■

引用元の文献の全リストは、[saints.lds.org](http://saints.lds.org) [英語] で御覧になれます。

「テーマ」という言葉が注釈にある場合は、追加情報がオンライン ([saints.lds.org](http://saints.lds.org)) に掲載されています。

#### 注

1. Lucy Mack Smith, History, 1844 - 45, book 7, [9]
2. 教義と聖約 10 : 2 (Revelation, Spring 1829, at [josephsmithpapers.org](http://josephsmithpapers.org)) 参照
3. See Lucy Mack Smith, History, 1844 - 45, book 7, [5] - [7]
4. Lucy Mack Smith, History, 1844 - 45, book 7, [8] - [9]
5. 教義と聖約 3 : 1 (Revelation, July 1828, at [josephsmithpapers.org](http://josephsmithpapers.org)) ; Lucy





- Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [8] – [9]; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 10, in *JSP*, H1:246 (draft 2)
6. 教義と聖約 3 章 (Revelation, July 1828, at josephsmithpapers.org); Joseph Smith History, circa Summer 1832, [6], in *JSP*, H1:16; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [8] – [9]
  7. Lucy Mack Smith, History, 1845, 138; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [8] – [11]
  8. Preface to Book of Mormon, circa Aug. 1829, in *JSP*, D1:92 – 94; “Testamoney of Martin Harris,” Sept. 4, 1870, [4], Edward Stevenson Collection, Church History Library; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [5]; Historical Introduction to Revelation, Mar. 1829 [DC 5], in *JSP*, D1:14 – 16
  9. “Testamoney of Martin Harris,” Sept. 4, 1870, [4], Edward Stevenson Collection, Church History Library; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 6, [9]; book 8, [5]
  10. 教義と聖約 5 章 (Revelation, Mar. 1829, at josephsmithpapers.org)
  11. Revelation, Mar. 1829 [DC5], in *JSP*, D1:17
  12. Isaac Hale, Affidavit, Mar. 20, 1834, in “Mormonism,” *Susquehanna Register, and Northern Pennsylvanian*, May 1, 1834, [1]; “considered” in original changed to “consider.”
  13. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [6] – [7]
  14. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [11]
  15. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [12]; “Mormonism,” *Kansas City Daily Journal*, June 5, 1881, 1; Morris, “Conversion of Oliver Cowdery,” 5 – 8
  16. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [12]; Knight, Reminiscences, 5; 教義と聖約 4 章 (Revelation, Feb. 1829, at josephsmithpapers.org); see also Darowski, “Joseph Smith’s Support at Home,” 10 – 14
  17. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [12]
  18. Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:15
  19. 教義と聖約 6 章 (Revelation, Apr. 1829–A, at josephsmithpapers.org); Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 7, [12]; book 8, [1]
  20. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 15, in *JSP*, H1:284 (draft 2); Joseph Smith History, circa Summer 1832, [6], in *JSP*, H1:16; Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [1]; see also 教義と聖約 6:22 – 23 (Revelation, Apr. 1829–A, at josephsmithpapers.org)
  21. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [3] – [4]; Joseph Smith History, circa Summer 1832, [6], in *JSP*, H1:16
  22. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [4]; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 13, in *JSP*, H1:276 (draft 2); Agreement with Isaac Hale, Apr. 6, 1829, in *JSP*, D1:28 – 34; Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:14
  23. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 18, in *JSP*, H1:296 (draft 2)
  24. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 15, in *JSP*, H1:284 (draft 2); Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [4]; Joseph Smith III, “Last Testimony of Sister Emma,” *Saints’ Herald*, Oct. 1, 1879, 290  
テーマ：初代末日聖徒の日常生活
  25. 「モルモン書の翻訳」福音のテーマ, topics.lds.org; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 15, in *JSP*, H1:284 (draft 2); Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:14; Joseph Smith III, “Last Testimony of Sister Emma,” *Saints’ Herald*, Oct. 1, 1879, 290; “Golden Bible,” Palmyra Freeman, Aug. 11, 1829, [2] テーマ：モルモン書の翻訳
  26. 教義と聖約 10:45 (Revelation, Spring 1829, at josephsmithpapers.org); 1 ニーファイ 9:5; モルモン の 言 葉 1 章 ; 教 義 と 聖 約 3 章 (Revelation, July 1828, at josephsmithpapers.org)
  27. 教義と聖約 10:42 – 43 (Revelation, Spring 1829, at josephsmithpapers.org) テーマ：モルモン書の失われた原稿
  28. Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:14; モーサヤ 8:16 – 18; オムナイ 1:20; モーサヤ 8:8 – 13, 28:11 – 15, 20; アルマ 37:21, 23; エテル 3:24 – 28 も参照
  29. 教義と聖約 6:5, 11, 22 – 24 (Revelation, Apr. 1829–A, at josephsmithpapers.org)
  30. 教義と聖約 6:10 – 13 (Revelation, Apr. 1829–A, at josephsmithpapers.org); 教義と聖約 8:4 – 8 (Revelation, Apr. 1829–B, at josephsmithpapers.org); Historical Introduction to Revelation, Apr. 1829–B [DC 8], in *JSP*, D1:44 – 45; Revelation Book 1, 13, in *JSP*, MRB:15
  31. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [1]; Paul and Parks, History of Wells, Vermont, 81; Historical Introduction to Revelation, 1829–B [DC 8], in *JSP*, D1:44 – 45; see also Baugh, Days Never to Be Forgotten; Bushman, Rough Stone Rolling, 73; and Morris, “Oliver Cowdery’s Vermont Years and the Origins of Mormonism,” 106 – 29  
テーマ：古い棒
  32. 教義と聖約 6 章 (Revelation, Apr. 1829–A, at josephsmithpapers.org); 教義と聖約 8 章 (Revelation, Apr. 1829–B, at josephsmithpapers.org); Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 13 – 14, in *JSP*, H1:276 – 78 (draft 2); see also Book of Commandments 7:3; 教義と聖約 8:6 – 7
  33. 教義と聖約 9 章 (Revelation, Apr. 1829–D, at josephsmithpapers.org); Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:14

**ウ**ィスコンシン州を通過している途中で妻の具合がとても悪くなったと息子が言うのです。母親が手術を受けている間、子供たちをどうすればよいでしょうか。



## 家族のような他人

**あ**る夜遅く、息子のガレットがアメリカ合衆国ウィスコンシン州オークレアから電話をかけてきました。ガレットと妻のシェリーと子供たちは、ガレットが軍事訓練を受けたアラバマ州からノースダコタのミノール空軍基地に向かう途中でした。ウィスコンシン州を通過している途中で、シェリーの具合がとても悪くなったとガレットが言うのです。病院を見つけ、シェリーは翌朝に緊急で虫垂を切除する手術を受けることになりました。

わたしは飛行機を手配して、彼らのもとに駆けつけましたが、次の日まで到着することができませんでした。母親が手術を受けている間、ガレットは、5歳、1歳、生後3週間の赤ん坊の子供たちをどうすればよいか心配していました。その地域で知っている人はだれもいなかったのです、まだ会った

ことがなかったにもかかわらず、ミノールのビショップに電話をかけることにしました。ミノールのビショップは、オークレアのビショップに連絡しましょうと言いました。

翌朝、オークレアのビショップは扶助協会会長とともに来て、ホテルでガレットと会いました。シェリーが手術を受けている間、彼らは喜んで子守を引き受けてくれたのです。後日、シェリーは、二人の見ず知らずの人でありながら、福音における家族である人々に、自分の子供を預けることに何の不安もなかったと語りました。わたしがオークレアに到着したときには、シェリーは病気から快復し、孫たちはシェリーとガレットのもとに戻っていました。わたしたちが困ったときに助けがあったことを感謝しました。

数週間後、2016年10月の総大会

を見てみると、十二使徒定員会会長代理のM・ラッセル・バラード会長が次のように語りました。「靈感に基づき、細部にわたり整えられた組織を有する教会を見つけるために、あなたはどこへ行くのでしょうか。そこでは、皆さんや家族に仕えることを通して献身的に主に仕える男女から、教えや支えを受けることができます。」「わたしたちは、だれのところに行きましょう」『リアホナ』2016年11月号、91)

わたしはオークレアでの出来事について考えずにいられませんでした。教会員であることだけでなく、どこにいても互いに奉仕し、祝福し合える福音の家族の一員であることは祝福です。■

ジェフ・メサーリー（アメリカ合衆国、ユタ州）

## 天の御父はわたしの祈りを聞いてくださいました

**夫**と家庭を築き始めたのは、まだ母国アルゼンチンに住んでいたときでした。わたしたちは帰還宣教師で、主の神殿で結婚することが祝福であることを知っていました。天の御父のもとに戻る道をともに歩めることにわくわくしました。

救いの計画には試練も含まれていることは分かっていましたが、信仰と祈りによってどんなことでも克服できると信じていました。ですが、立て続けに逆境に見舞われるとは予想だにではありませんでした。まるで雨のように、試練が次々と降りかかってきたのです。

独りきりになった、ある日の午後、試練のことを考えてとても悲しくなり、泣いてしまいました。どうすればよいか分かりませんでした。泣くのをやめようとする度に、より落ち込み、ますますやるせなくなりました。

そのとき、困難に直面したときにいかに祈りが重要であったかを話してくれた多くの人たちのことを思い出しました。祈りについて証はありましたが、頭も心もあまりに疲弊していて、言葉が出てこないのではないかと思いました。

わたしは泣きながらベッドの横にひざまずくと、心の底から天の御父に慰めと平安を願い求めました。試練の解決策や、試練自体がなくなることを望んだわけではありません。ただ平安を願い求めたのです。

祈っていると、玄関のドアをノックする音が聞こえてきました。目にまだ涙をためたままドアを開けると、そこには扶助協会の姉妹が立っていました。

近くで働いているのでバイクで訪ねてきたと言いました。わたしはただ彼女を抱き締めることしかできませんでした。「なぜだか分からないけど、立ち寄ってあなたと会わなくてはいけない気がしたの」と彼女は言いました。

二人でキッチンのテーブルに座ると、彼女はわたしを落ち着かせてくれました。しばらく話しているうちに、わたしはようやく独りぼっちではないのだ

**祈**りについて証はありましたが、頭も心もあまりに疲弊していて、言葉が出てこないのではないかと思いました。

と思うことができ、天の御父が祈りを聞いてくださったのだと感じました。

祈りを通して天の御父と話ができることは祝福です。天の御父はわたしが助けを必要としているときに耳を傾け、助けるために御自分の子供の一人を遣わしてくださったのです。この姉妹が御霊による靈感に気づき、それに従ってくれたことに感謝しています。■

ラケル・E・ペドラーザ・デ・プロジオ  
(アメリカ合衆国、ユタ州)



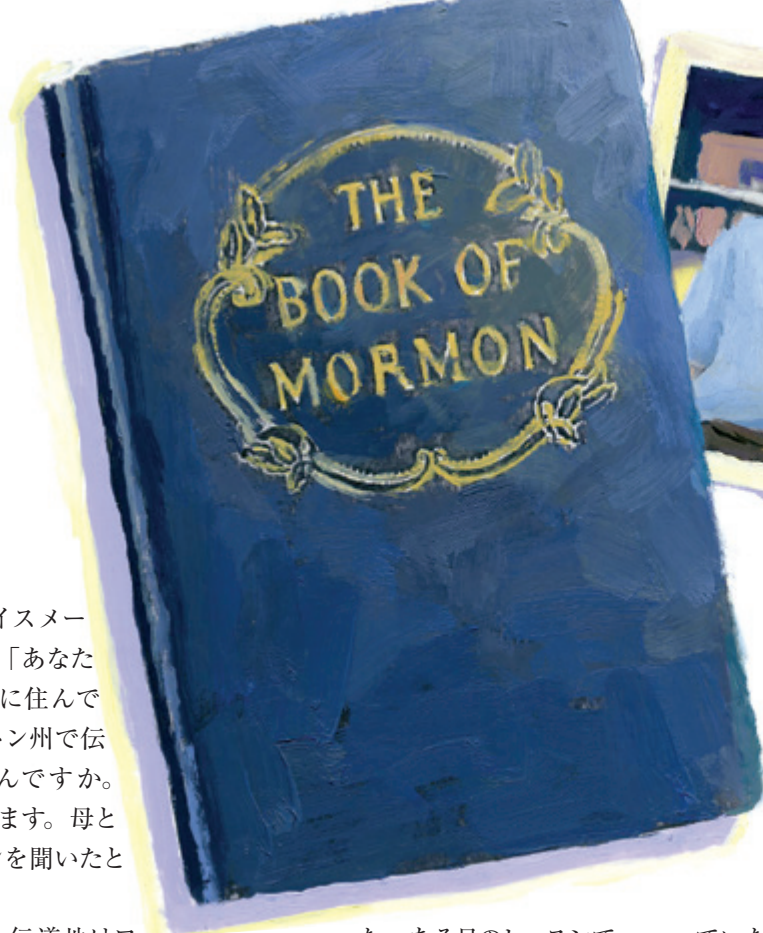
## 1冊の 古い モルモン書

数年前、電話にボイスメールが届きました。「あなたは、アイダホフォールズに住んでいて、1974年にワシントン州で伝道したダン・ホブズさんですか。トム・ジャナキーと申します。母と父はあなたからレッスンを聞いたと思います。」

わたしは驚きました。伝道地はワシントン州ではなく、アメリカ合衆国のテキサス州でしたが、聞き覚えのある名前でした。即座にたんすにしまってある本を思い出しました。1948年版のモルモン書です。表紙を開くと、手書きのメッセージが書かれています。「神様があなたとともにありますように。神様の祝福がありますように！1974年、フランク・ジャナキー、バージニア・ジャナキーより」その瞬間、35年前の記憶がよみがえってきました。

当時、わたしは21歳で、テキサス州ヒューストンで伝道を終えようとしていました。同僚とわたしがこれと言った成果のないまま戸別訪問をしていたある日、1軒のドアをノックすると、一人の男性が出てきて、温かく迎え入れてくれました。その男性はフランク・ジャナキーと名乗り、妻のバージニアを紹介してくれました。わたしたちは短い時間、彼らと話しました。

その後、何度か訪問し、福音を教えました。彼らはバプテスマに興味がありませんでしたが、いつも好意的でし



ある日のレッスンで、わたしは本棚に古いモルモン書があることに気づきました。わたしたちが立ち去る前に、フランクは古いモルモン書に署名し、別れの記念にくれました。

た。ある日のレッスンで、わたしは本棚に1冊の古いモルモン書があることに気づきました。それがどのような経緯で彼らの手に渡ったかは覚えていませんが、とても良いですねと自分が言ったことは覚えています。

わたしが帰還する直前に、同僚とわたしは別れのあいさつをするために彼らの家に立ち寄りしました。わたしたちが立ち去る前に、フランクは古いモルモン書に署名し、別れの記念にくれました。そして、彼らの家族の聖書にわたしの名前と住所を書いてくれるように頼みました。ジャナキー家と会ったのはそれが最後でしたが、わたしは彼らの贈り物をずっと大事に持っていました。

その夜、わたしは電話をしました。トムは、1974年にワシントンで伝道しましたか、ともう一度尋ねてきました。わたしは、テキサスで伝道しましたが、御両親の名前はフランクとバージニアではありませんかと聞きました。

両親はテキサスからワシントンに引っ越しており、ワシントンに住んでいるときに宣教師が訪ねて来たと思っ

ていた、とトムは言いました。家族の聖書にわたしの名前と住所が書かれていた、とも言いました。

「弟とわたしの二人ともバプテスマを受けたことをお伝えしたくて電話をしました。それは、宣教師が両親にとっても親切だったおかげでもあるんです。両親は、長年の間、会ってきた宣教師たち全員がとても好きでした。」

そしてトムは両親が二人とも亡くなったことを語り、こう言いました。

「でも、今彼らの神殿の儀式を行っているところです。」

わたしは目に涙を浮かべながら、電話をくれたことをトムに感謝しました。

何年もの間、自分の伝道はあまり成功しなかったと感じていました。奉仕している間にだれかの人生を変えることはできたのだろうか疑問に思うこともありました。トムの電話は、主の優しい憐れみの表れでした。わたしは自分の伝道と、ジャナキー家に福音を伝えるためにささやかな貢献ができたことを感謝しています。■

ダン・ホブズ（アメリカ合衆国、アイダホ州）

## 新米ママの祈り

**最**初の子がおませで小さな男の子だったころ、自分はおむつの交換と食事の世話に追い回されるだけの生活をしていると感じることがありました。

子育て中心の生活に慣れてきたころ、わたしは自分の霊に必要な事柄をおろそかにしていることに気がつきました。聖文を読む代わりに、普段、大いに必要だと感じていた仮眠をこっそりと取ったり、もう1回洗濯機を回したりしていたのです。祈りといえば、息子が早く寝ついて、よく寝てくれますように、とそそくさとお願ひしたり、どうか今日一日乗り切れますように、とお願ひしたりするだけでした。

息子が4か月くらいのころ、自分の霊性がいかに落ちているかに気づきました。証を強くしたいという気持ちが弱くなっていました。教会で3時間座っているのは苦痛でしたし、そのほかに家や教会の責任を果たすなんて時間もないし、そんな気力もないと感じました。福音の光を再び感じたいと思いましたが、疲れ果てていて、どこから手をつけたらいいのか分かりませんでした。ある晩、心から助けを祈り求めました。

そして翌朝、足を引きずるようにして教会に行ったのです。扶助協会でレッスンを聞いているときに、扶助協会の目的が書かれたポスターが目に入りましたが、自分に向けられたメッセージだと思ったことはありませんでした。扶助協会の目的は姉妹たちが「信仰と個人の義を増し加え、家族と家庭を強め、困っている人々を見つけ出して助

ける」ことだと書いてあります。

わたしはもう一度読みました。そのとき、わたしは「信仰と個人の義を増し加え」という言葉に心を引き付けられました。きちんと教会の召しを果たし、ほかの人に奉仕できるようになるためには、まず、自分の霊性を養わなければならないということが、はっきりと分かったのです。わたしは、毎日時間を取って聖文を読むようにしました。また、もっとよく考えて祈るように努めました。

自分の信仰と個人の義を養い、天の

**わ**たしは、自分の霊に必要な事柄をおろそかにしていることに気がつきました。聖文を読む代わりに、普段、大いに必要だと感じていた仮眠をこっそりと取ったり、もう1回洗濯機を回したりしていたのです。

御父に導きを求めるようになると、回復されたイエス・キリストの福音に対するわたしの愛に、再び火が点いたのです。召しを受けて奉仕し、扶助協会の姉妹たちを訪問し、毎週聖餐にあずかることが、再びわたしの生活の中で大切な事柄になりました。そして、時間と気力がなくてできないと思っていた事柄が、今や、わたしと家族にとって安らぎと力を与える事柄になったのです。■

クリстал・ベイカー・チップマン  
(アメリカ合衆国、ユタ州)



このガーナの  
ヤングアダルトは  
人生に希望を  
見いだせないときでも、  
天の御父に  
頼ることができる  
ということを知っています。



# エリックはどのように 神を信頼すること を学んだのでしょうか

教会機関誌

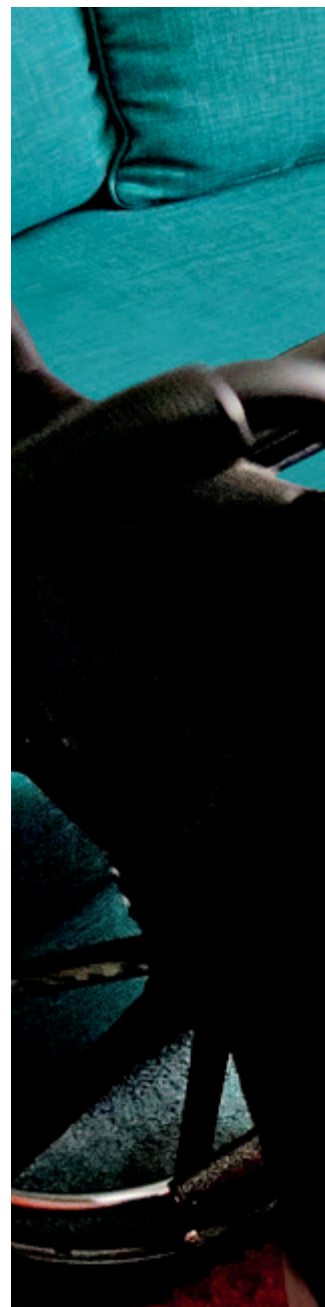
リチャード・M・ロムニー

**ガ**ーナのテキマン出身の21歳のエリック・アヤラが、母親と露店市場にいたときにコントロールを失った車に衝突されたのは、彼が3歳のときでした。

今エリックは下半身不随の体ですが、これまで足を使わずに生活しなければならなかったため、様々な試練に直面しました。やっと手に入れた足のギプスで立つことができるようになりましたが、すぐに成長してサイズが合わなくなりました。新しいものを買う余裕はありません。小さな車椅子をもらいましたが、それも成長に伴い、小さくなりました。彼の足は細くなり、時折痙攣で震え、足の形は変形していました。

ガーナでは、障がいのある人はしばしば負担だと思われてしまいます。エリックの家族は裕福ではなく、医療費を払うお金はありませんでした。彼が10歳のころ、床擦れを発症しました。これは運動不足や長時間、木やコンクリートに座っていたために起こったことです。その床擦れは化膿し、常にうみが染み出て、ひどい臭いがしました。

そのため、エリックは屋根のない小屋の腰か



けの上で生活しました。彼の母親ルーシーや姉妹たちが食事や洗濯、お風呂の世話をしてくれました。エリックは、しばしば雨でずぶぬれになり、夜の寒さのために凍えて過ごすこともありました。ぬくもりをもたらしてくれるので、朝の太陽の光が大好きになりました。学校に行くお金もなく、働くこともできなかったため、彼は何年も小屋で過ごしましたが、時々、車椅子で近所を回ることもありました。

### 信仰の始まり

自分の境遇を恨むのではなく、「わたしは神を愛し、信じるようになりました」とエリックは述べています。「だれからも神について教わったわけではありませんが、神の創造物を見ることができず、人々の良い面も悪い面も見えませんでした。生活が大変なときは、信じるのが難しいこともあります。そんなときに、わたしの人生に何かよいことが起こって、このように言うようになります。『御覧なさい、神はここにいらっ



しゃいます。すばらしいですね。』

エリックは正式に祈り方を教わっていませんでしたが、神を呼び求め始めました。そして答えを受けたのです。病気のときに、医師に診てもらおう予想外の機会があったり、床擦れの痛みから解放されたいと願えば、床擦れが治ったり、成長して車椅子が小さくなってしまったときには、見ず知らずの優しい人がもっと大きな車椅子を持って来てくれたりしました。「神はわたしの人生において多くのよいことをしてくださいました」とエリックは述べています。

そして奇跡とも思える出来事は、14歳のときに学校に通えるようになったことです。彼の母親は、料理をする仕事をしてお金をためて、彼の制服や教科書の費用と授業料を払ってくれたのです。学校では、「外に出て、ほかのクラスメートたちと運動できなかったのを、教室でいつも勉強していました」とエリックは説明しています。彼は数学と読解、作文の科目で最高点を取り、校長先生を驚かせました。

ある病院修道女が手でこぐことができる新しい三輪車を寄付してくれました。そのおかげで、通学が楽になりました。しかし、行き帰りの通学のせいで床擦れが再発しました。再び化膿して、患部からうみが垂れてひどい臭いがしました。エリックの周りにはいつもハエがたかっていることに生徒たちが不満を言いました。17歳のときに、校長先生から、家で治療に専念して、傷が治るまで学校に戻って来ることはできないと言われました。

エリックの父親は、田舎に小さな農場を持っていました。彼は農場で働くために家族を連れて行きましたが、エリックは一人で小屋に取り残されました。そのうちに、エリックの傷は悪化し、化膿が骨まで達し、骨髄炎と呼ばれる命にかかわる状態になりました。

### オブルニとの会話

18歳のとき、友人のエマヌエル・オフォスーヘネが英語でオブルニ（白人の男性）と話しているのを見かけました。そのオブルニはモルモンの宣教師、オールド長老でした。「わたしはトゥイ語しか話せませんでした。エマヌエルが訳してくれました。『わたしはとてもひどい病気で、もうだめだと思います。わたしが天国へ行けるように何をすべきか教えていただけますか。』

オールド長老とアフリカ人の同僚は座ってわたしに教えてくれました。どういうわけか、彼らは知恵の言葉から教え始めました。わたしはコーヒーとたばこがよくないとすでに知っていたので、彼らが真実を語っていると分かりました。」彼らはエリックにイエス・キリストの回復された福音についてのパンフレットを渡して、教会に招待しました。

「行ってみると、この教会は違っていました。」エリックは続けます。「敬虔さがありました。」教会まで1時間も車椅子を押して行かなければなりませんでしたが、エリックは教会の集会がとても気に入りました。「前列の方に行って、みんなの近くにいたかったのですが、自分がひどい臭いがすることを知ってい

たので、後方にいました。』

エリックは宣教師たちに言いました。「わたしが学んでいることは真実です。」彼は自分がバプテスマを受けたいけれども、傷口をぬらさないように医者から警告されていることを伝えました。「答えを与えてくださると神を信頼しています」と彼は言いました。エリックは1年ほど教会に集いましたが、体調が悪化し、車椅子を押すことができないほど体が弱くなってしまいました。

最終的にエリックは病院に連れて行かれました。ガーナでは、患者は自分で飲み水や食べ物、ベッドのシーツや枕、医薬品、包帯などを用意しなければなりません。そのためのお金がなければ、診てもらえません。エリックの母親と姉妹たちはできるだけのことをしました。彼は、食べ物や薬を時々しか受け取ることができなかったため、だんだん弱っていきました。

### 予想外の訪問

それから間もなく、エリックは予想外の訪問を受けました。教会で彼の写真を見た宣教師のペブラ姉妹とナフナ姉妹が、病院にお見舞いに来て、食べ物を持って来てくれたのです。最後に教会に集ってから1年がたっていましたが、自分がまだバプテスマを受けたいと望んでいることを彼らに伝えました。

数日後、エリックの姉がお見舞いに行くと、彼はとても体調が悪い様子でした。彼女は走って家に帰り、母親に伝えました。エリックとともに事故に遭った母親も足に障がいを負っていたので、



一歩ずつ顔をしかめながらも、病院まで歩いて来ました。「家に帰るべきよ」と母親はエリックに言いました。「もし死んでしまうのなら、近くにいてほしいの。」

次の朝、姉妹宣教師たちが家に来ました。「病院にいなかったの、ここに来ました」とペブラ姉妹が言いました。彼らとともに、ニュージーランドから来た夫婦宣教師のウッド長老と姉妹もいました。彼らは必要な物を確認してから、必ず戻って来ると約束しました。

数日後、エリックの父親はエリックを除く家族全員を農場に連れて行ったので、彼は再び食べ物も水もない状態で取り残されてしまいました。ウッド長老と姉妹が戻って来たときには、エリックは一人でおなかをすかせていましたが、二人は食べ物や水を持って来ていました。次の日も彼らはエリックを訪問しましたが、彼の足から体液が滴っていることに気づき、太ももに傷の開いた潰瘍潰瘍を見つけました。二人はすぐにエリックを病院に連れて行きました。

ウッド夫妻はアメリカから医療チームが人道支援のためにガーナに来ることを知りました。その医療チームはエリックのために手術を無料で行ってくれるというのです。そして外科医がエリックの足の潰瘍の治療をしてくれました。しかし彼の症状が深刻であり、骨髄炎も併発しているのを見て、ガーナではすべての必要な処置を行うことはできないと判断しました。その医師の勧めにより、人道支援団体はエリックがアメリカで必要な治療を受け、傷を完全に塞ぐことができるように手続きをしてくれました。それに加え、教会員によって運営されているガーナのウィネバにある施設が彼を受け入れてくれることになり、彼は再び学校に行って義務教育を終えられることになりました。

### 主が与えてくださった

エンジニアをしていたウッド長老は、エリックの手こぎの三輪車を作り変えました。エンジニアとしての経験を生かして、車椅子を全面的に改良したのです。ウッド長老は、医者でもあったガーナ・クマシ伝道部のコスグレイス伝道部会長にも相談しました。二人とも、注意深く対処すれば、エリックがバプテスマを受けられると感じていました。

「ウッド長老はわたしの体をラップで包み、その周りをテープで止めました」とエリックは説明します。「それから、消毒剤で殺菌してある水の入ったフォントの中にわたしを担ぎ入れました。わたしは2016年6月26日にバプテスマを受けました。」エリックは主に頼り、主は方法を備えてくださったのです。■



# でも、外したら どうしよう？

失敗への恐れが、  
自分の才能を伸ばすことや  
成長する機会を  
求めることを  
妨げていました。

教会機関誌  
サラ・キーナン

**わ**たしが6歳のとき、父はわたしと姉をバスケットボールに誘いました。本物の体育館でプレーするのは初めてでした。わたしの小さな手にはバスケットボールは重く、ゴールが一番低くされていたのに、圧倒されるほど高く感じられました。

「大丈夫だよ。ただシュートを打ってごらん」と父が言うと、

わたしは父の方を向いて、「でも、外したらどうしよう？」と尋ねました。

それから20年以上たった今では、シュートが入ったかどうか覚えていませんが、そのとき、次のように感じた恐れは覚えています。「もし、外したらどうしよう？ ベストを尽くしてもうまくいかなかったら？ 失敗したらどうしよう？」

## 失敗を恐れる

同じような失敗を恐れる気持ちに、わたしは人生を通じて悩まされてきました。長い時間をかけて、その恐れを克服するのに十分な経験やスキルを自然に身につけてきました。しかし、わずかながら、恐れからの影響を受けていました。わたしは上手にできるように

なるまでスポーツに挑戦しませんでした。学校でも、自分の得意でない教科は避けてきました。新しい活動に挑戦してみて、上手にできないときの解決策は、すぐにやめてほかのもっと上手にできることをすることでした。

そして、伝道に出ました。そこで初めて、自分の弱さがだれの目にも明らかなのに、そう簡単にはやめるわけにはいかない状況に遭遇しました。言葉を発するのが難しく感じられました。新しい言語で教えることも大変でした。毎日、何度も拒絶されました。わたしは、シュートを打っても外してばかり、つまり、常に失敗していたので、諦めて家に帰るといって、自分の失敗に対する解決策に従おうかと悩んだ日々もありました。

## 翻訳の問題

そのころ、オリバー・カウドリが金版を訳そうと試みた話から、わたしがほんとうに必要としていた靈感と教えを受けました。ジョセフ・スミスの筆記者として数週間働いた後、オリバーは自分も金版を翻訳できるのではないかと思い始めました。

ジョセフは主に尋ね、オリバーも翻訳



することが許されるであろうという答えを受けました。しかし、主はオリバーに幾つかの勧告をお与えになり、そのうちの二つは「忍耐強くあ[る]」ことと、「恐れてはならない」ということでした(教義と聖約 6 : 19, 34)。

翻訳は、オリバーが想像していたほど簡単なことではありませんでした。言葉が思うように出てこない、彼はいらだち、やがて諦めてしまったのです。

### 機会を見落とす

その出来事について学んでいたときに、オリバーの問題が自分の問題と似ていることに気がきました。彼は、翻訳の技術をすぐに身につけられると思込んでいましたが、実際に行ってみてそううまくはいかないこと、そしてその賜物を磨くために何度も失敗するであろうことを理解すると、自分が自信をもって務められる筆者に戻りました。

主の勧告は正確でした。オリバーは自分自身や神に対して忍耐ができず、また恐れを抱いていました。そのため、神は翻訳の機会をオリバーから取り去られました(教義と聖約 9 : 3 参照)。

わたしは、これまでに失敗への恐れがどれほど自分の成長を妨げていたのか気づきました。「シュートを外す」ことを非常に恐れて、シュートを打たなかったり、数回挑戦しただけでやめてしまっていました。失敗を避けようとするので、将来の成功のための機会を失っていたのです。わたしは自分自身と神に対して忍耐強くなれず、恐れも感じていました。

オリバー・カウドリの話は、わたしに希望をもたらしてくれました。主はオリバー・カウドリに、そのときは翻訳ができないと述べられましたが、「ほかの記録があるので、わたしはあなたに力を与えて翻訳を助けさせよう」とも約束されました(教義と聖約 9 : 2)。オリバーの

翻訳の機会は失われたのではなく、遅らされたのです。同様に、わたしが逃した機会も失われたわけではないのです。わたしがもっと忍耐して、失敗を恐れて挑戦するのをやめなければ、主はより多くを与えてくださいます。

### 恐れに失敗する

わたしは失敗への恐れを克服すると決心しました。もちろん見ず知らずの人に話しかけることも、外国語で教えることも緊張しましたが、どちらも上達していきました。それらのスキルは、伝道後もわたしの人生において助けとなっています。

今でも、新しいことに挑戦したり、特に得意ではないことをしたりするときには躊躇することがあります。しかし、忍耐強くあることを学びました。シュートを打ち続けて、外すことを恐れないことを学んだのです。■

あなたが

# 伝道に



# 召される前に

伝道に出るといのはどんな感じでしょうか。

教会機関誌  
ライオン・カー

**伝**道に出ることについて考えたことはありますか。もし考えたことがあれば、伝道はどのようなものか想像してみたことがあるでしょう。何人かの専任宣教師に質問をします（本物の宣教師に聞くわけではありませんが、回答は代表的なものです）。

**あなた**：「こんにちは、長老たち。長老たちは通常、1日をどのように過ごしますか。」

**専任宣教師**：「朝早く6時半に起きます。それから数時間は福音や伝道地の言語を学びます。1週間の目標を確認し、1日の計画をします。相手が約束の時間に来なかったときのための代替計画も考えます。そしてアパートを出て一日中働きます。教える人を見つけ、会員との伝道を調整し、レッスンを教えに行きます。」

**あなた**：「これまでホームシックになったことはありますか。」

**専任宣教師**：「はい。特に伝道の初めにはそうになりました。でも、週に一度、家族に電子メールを送ったり、彼らからのメールを読んだりすることができます。ホームシックを克服する一番の方法は、伝道に集中することだということが分かりました。」

**あなた**：「知らない人と話すことについてどう感じますか。」

**専任宣教師**：「任地に着いた当初はと

ても緊張しましたが、毎日知らない人に話しかけるので慣れてきます。出会う人全員がメッセージを聞いてくれるわけではないことは知っていますが、興味を持つ人もいます。ですから、いつでも進んで話しかけなければなりません。実は、人と出会って知り合うことが楽しくなっていきます。」

**あなた**：「福音を教えるのは難しいですか。」

**専任宣教師**：「はい。上手に教えるためには練習が必要ですが、宣教師訓練センターで良い訓練を受けました。教えるを聞く人々の必要を満たし、彼らの質問に答える方法でレッスンを教えようとしています。上手に福音を教えるために毎日勉強します。何よりも、御霊の導きを感じます。宣教師として任命を受けていることは助けになります。」

**あなた**：「伝道は大変ですか。」

**専任宣教師**：「はい。週に70時間くらい働きますが、とても充実した時間です。もちろん、期待どおりに人々が成長しないとがっかりすることもあり

ますが、総じて言えることは、人々が霊的に進歩するのを助ける主の御手に使われる道具となることは祝福だということです。人々が証を得て改心するのを助けられるのは御霊だけであることを知っているのです、わたしたちは聖霊の力によって教えるように努めています。」

**あなた:**「自分に証があるかどうか確信がもてない場合はどうすればよいでしょうか。」

**専任宣教師:**「それでも大丈夫です。祈りと聖典学習を続けてください。教会やセミナーに行き、可能なら神殿に行ってください。御霊を感じる機会が多ければ多いほど、証は強くなります。家庭の夕べで自分の信じていることを伝える練習をしましょう。モ

ルモン書を読んでください。福音を教える助けとなります。」

**あなた:**「伝道に出るためにどんな準備をしましたか。」

**専任宣教師:**「そうですね。数年かかりましたが、聖文、特にモルモン書を研究し、教会やセミナーに出席しました。仕事をしてお金をためました。それでも、『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を読み、伝道準備クラスにもっと頻繁に出席すればよかったと思います。また、料理ももっと習っておけばよかったと思います。」

**あなた:**「わたしはいつか宣教師になれるでしょうか。」

**専任宣教師:**「もちろんです！ 全世界には7万人くらいの宣教師がいて、

だれもが最初に同じ望みを持ちました。『あなたがたは神に仕えたいと望むならば、その業に召されている。』（教義と聖約4:3）しかし、準備も必要です。霊的面だけでなく、経済的に、身体的に、そして社会的に準備が必要です。」

**あなた:**「そのほかに準備の助けになることは何ですか。」

**専任宣教師:**「福音に従って生活し、最善を尽くして戒めを守ることを目標としてください。そうすれば、証が強まり、御霊を受けるにふさわしくなります。宣教師になったとき、福音が真実であるという個人的な経験に基づいて証したいと思うでしょう。ですから、福音の原則についてさらに深く学ぶ時間を取り、それらの原則を生活の中で実践しましょう。」

**専任宣教師:**「また、次のページの質問を読むよう、お勧めします。ビショップまたは支部会長はあなたの宣教師志願書に記入する際、その質問をあなたに尋ねます。これらの質問を知っていることは準備の助けになります。両親や教会の指導者とともに、これらの質問について話し合ってください。たくさんの質問がありますが、圧倒されないでください。明日から宣教師訓練センターに入るわけではありません。時間を取ってよく準備すれば、伝道地での初日はふさわしく、喜びにあふれ、奉仕する準備ができている状態で迎えられるでしょう。」■

筆者はカナダ・モントリオール伝道部で専任宣教師として奉仕しました。





伝道に出ることを選択すると、あなたと教会指導者はこの神聖な奉仕の機会が喜ばしく、靈感あふれるものとなるようにしたいと思うことでしょう。その目標を考慮して、よく準備し、ふさわしくあり、よく仕えられるようにすることは大切です。準備の助けとして、ビショップや支部会長があなたの準備がどれほどできているかを見極めるためにする質問を挙げました。これらについて、ビショップや支部会長、両親、教会指導者といつでも話合することができます。

## ふさわしさと証

1. あなたは永遠の父なる神とその御子イエス・キリストと聖霊に対して、信仰と証を持っていますか。

証：「しかし見よ、もしあなたがたが目を開き、能力を尽くしてわたしの言葉を試し、ごくわずかな信仰でも働かせようとするならば、たとえ信じようとする望みを持つだけでもよい。わたしの言葉の一部分でも受け入れることができるほどの信仰になるまで、その望みを育ててゆけ。」(アルマ 32 : 27)

2. イエス・キリストが神の独り子であり、世の救い主、贖い主であられるという証を持っていますか。あなたの証を分かち合ってください。イエス・キリストの贖罪によって、あなたの人生はどのような影響を受けてきましたか。

3. 悔い改めとはあなたにとってどのようなことですか。あなたは過去の過ちを完全に悔い改めたと感じていますか。

悔い改め：「人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる。」(教義と聖約 58 : 42 - 43)

4. 福音とイエス・キリストの教会が預言者ジョセフ・スミスを通して回復されたこと、ラッセル・M・ネルソン大管長が神の預言者であるということに関して、あなたの証を分かち合ってください。

5. モルモン書が真実であるという証がありますか。

6. 専任宣教師としての奉仕を行うには、福音の標準に従って生活することが求められます。以下の標準はどのような意味であると理解していますか。

### a. 純潔の律法

純潔の律法に関連して、これまで話してきた事柄に調和した生活を常に送ってきましたか。送ってこなかった場合、罪を犯したのはどれくらい前でしたか。悔い改めるために何をしましたか。

**純潔の律法:**「純潔とは性的な清さ、『神にとって喜ばしい』状態を意味します(モルモン書ヤコブ2:7)。純潔であるためには、思い、言葉、行いにおいて道徳的に清くなければなりません。法的に結婚するまでは決して性的な関係を持つてはなりません。」(『真理を守る——福音の参考資料』97)

### b. ポルノグラフィーを避ける

**ポルノグラフィーを避ける:**大管長会のダリン・H・オークス管長は、ポルノグラフィーとの接触は、偶然に見てしまうことから衝動的に接触する、または依存状態に至るまで様々な度合いにわたると説明しています。どの段階にいるか知ることが、適切な解決法を見出す助けとなります。『リアホナ』2015年10月号の50-55ページにある「ポルノグラフィーのわなから抜け出す」、または [overcomingpornography.org](http://overcomingpornography.org) でさらに学んでください。

### c. 什分の一の律法

d. 知恵の言葉——薬物の使用や処方薬の乱用も含む

### e. 安息日を聖く保つ

### f. あらゆる言動において正直である

あなたは、これらすべての標準に従って生活してきましたか。現在、これらの標準に従って生活していますか。また専任宣教師として、これらの標準に従って生活しますか。

## 能力と適格性

7. 法的措置を受けていませんか。

8. 逮捕されたか、有罪判決を受けたか、記録が抹消されたかどうかにかかわらず、刑法に対する重大な違反を犯したことがありますか。

9. 告訴されたか、有罪判決を受けたか、記録が抹消されたかどうかにかかわらず、どのような形であれ、これまでに子供を性的に虐待したことがありますか。

10. 伝道前に解決しておくべき、そのほかの重大な罪や過ちを犯していませんか。

11. 末日聖徒イエス・キリスト教会が受け入れている教えや行動に反することを教えるグループや個人と関係を持っていませんか。そのようなグループや個人の教えや行動を支持し、共鳴していませんか。

12. あなたには、未払いの負債がありますか。伝道前に、どのようにその負債を完済するつもりですか。あるいは伝道中どのように管理するつもりですか。

13. 現在、あるいは過去に、宣教師としての通常の日課をこなすのに支障を来す、身体的、精神的、情緒的な状況を経験したことがありますか。宣教師の通常の日課とは、1日に12-15時間働き、そのうち2-4時間は学習、8-10時間は歩くか自転車に乗るといった内容です。

14. 失読症をはじめとする読字障がいだと診断された、あるいは治療を受けたことはありますか。ある場合、聖典やそのほかの文書を声に出して読むことに問題はありますか。同僚の助けがあれば、適切な聖句やそのほかの情報を覚えることができると思いますか。現在、どのようにこの障がいを補完していますか。

15. 発語障がいだと診断された、あるいは治療を受けたことはありますか。ある場合、人前で話することに問題はありますか。学び、教え、人と話すための手段を十分に持ち合わせていると感じますか。

16. 次の状況に関して服薬そのほかの治療を受けたことがありますか——注意欠陥障がい(ADD)、注意欠陥多動性障がい(ADHD)、不安神経症、うつ、強迫性障がい(OCD)、自閉症スペクトラム障がい(アスペルガー症候群を含む)。「はい」の場合、説明してください。

17. これらの状況についてかつて治療を受けていたが中断した場合、医師の監督の下で中断しましたか。そうでない場合、なぜ中断しましたか。治療や服薬がない状態において、あなたの調子はどうですか。これらの問題に対する治療を最後に受けたのはいつでしたか。■

[lds.org/go/81850](https://www.lds.org/go/81850) で伝道の準備についてのビデオやそのほかのリソースを見つけることができます。

立派に伝道することを妨げる、ふさわしさにかかわる状況や健康状態の多くは克服できるものです。必要な助けを求めてください。伝道に出る準備ができたときに健康上の問題が続いていれば、ビショップや支部会長に知らせてください。そうすることで、教会はあなたに伝道部を割り当てる前に状況を考慮することができるでしょう。例として、これらの質問に続く、フレッチャー姉妹の話を参考にしてください。



# 伝道 できるでしょうか

エリカ・フレッチャー

伝道資金の貯金箱に最初の1ペニーを入れたときから、わたしは伝道に出たいと思っていました。姉妹は19歳で伝道に出られると発表されたとき、わたしはすでに12年間資金をためていました。それが正しい時期かどうかは分かりませんが、主はわたしの祈りに答えてくださり、伝道に出るための書類を準備し始めるよう靈感を受けました。

伝道の召しがわたしにとって正しいものであってほしいと思っていましたし、教会の指導者に対して、特にわたしの健康について正直に話すことでしか平安を得られないと知っていました。わたしにはてんかんという、予期できない発作を引き起こす病気があります。幸運にも、症状は薬で完全に抑えることができている。しかし、薬に頼っていることで奉仕する場所が限られることになるかもしれません。

ドミニカ共和国サントドミンゴ東伝道部に召されたときにはほんとうに驚きました。でも問題がありました。ドミニカ共和国ではわたしの薬は入手できないことが分かったのです。困惑しました。なぜ主は、薬が使えない場所へわたしを送るよう教会指導者に靈感を与えたのでしょうか。

家族とわたしは答えを求めてともに祈りました。わたしは、主がドミニカ共和国でわたしに伝道してほしいと望んでいらっしゃるという強い確信を感じ、わたしたちは伝道の準備に取りかかりました。医師は18か月間分の処方箋を書いてくれましたが、持っていた保険では1年分の薬しか払えず、残りの6か月分は実費となりました。信仰をもって前進するにつれ、最後には解決できる方法が見つかりました。

授けられたとき、ステーク会長は伝道期間中、わたしの健康が影響を及ぼさないことを祝福し、わたしはその約束は成就したと証することができます。自分の肉体的な限界まで働きましたが、イエス・キリストの贖いを通して、伝道前そして伝道期間中に直面した困難を克服することができたと思っています。■

てんかんの持病があるにもかかわらず、フレッチャー姉妹(左)は伝道に出て奉仕することができました(同僚、伝道部会長夫妻とともに写した写真)。



# 宣教師になることについて教義と聖約が教える 5つのこと

教会機関誌  
シャーロット・ラーカバル

**あ**なたが伝道の準備をしているか、または自分が信じていることを友人に話す方法を探しているなら、もう一つの宣教師の手引き書と呼べるほどのすばらしいガイドがあります。

それは教義と聖約です。そこでは永遠の家族、死後に何が起るか、イエス・キリストの教会はどのように組織されるべきかについて、新しくかつすばらしい教義を見いだすことができます。また、福音を分かち合うようにという戒めを何度も見いただきます。実際、宣教師に向けて述べられたすべての約束と勧告を考えると、この聖文を福音を分かち合うためのガイドとして見なすことができます。

例として、教義と聖約を読むだけで伝道について学べる、5つのすばらしい真理を挙げます。



1

**どこに行くか心配する必要はありません。**

**教義と聖約 80 章 3 節:**「それゆえ、あなたがたは行って、わたしの福音を宣べ伝えなさい。北であろうと南であろうと、東であろうと西であろうと、どこでもよい。あなたがたは迷うことはあり得ないからである。」

「この聖句の『どこでもよい』という主の言葉は、主の僕がどこで働こうが主は関心をお持ちでないという意味ではないと思います。事実、主は深く心にかけておられます。……主は権能を持つ僕に靈感を与え、導き、指示を与えられるのです。宣教師がさらにふさわしく、主の御手に使われる者になろうと努力し、務めを忠実に果たそうと最善を尽くすとき、主の助けにより、彼らは『迷うことはあり得』ません。働く場所がどこであろうとです。」<sup>1</sup>

— デビッド・A・ベドナー長老

2

**聖文を蓄えるようにしてください。そうすれば言うべきことが分かるでしょう。**

**教義と聖約 84 章 85 節:**「絶えず命の言葉をあなたがたの心の中に大切に蓄えるようにしなさい。そうすれば、それぞれの者に必要な部分が、必要なそのときに授けられるであろう。」

「研究と信仰によって聖文の言葉と末日の預言者の言葉を大切に蓄えるとき、福音を分かち合う望みが強められます。あなたが何を言い、何を教えるべきかは、御霊によって知らされると約束されています。」<sup>2</sup>

— 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』

3

福音を探している人はどこにでもいます。

**教義と聖約 123 章 12 節:**

「地上のすべての教派や宗派、門派の中には、欺こうと待ち伏せる人々の狡猾な悪巧みによって目をくらまされ、見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる多くの人がある。」

「皆さんは日々、『見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる』友人や隣人に囲まれています。御霊に導かれるときに、皆さんは自分の考えを述べ、招き、回復された福音の真理を友人に紹介するメールやツイートをすることができます。」<sup>3</sup>

— デビッド・A・ベドナー長老

4

よく教えるためによく祈ってください。

**教義と聖約 42 章 14 節:**

「御霊は信仰の祈りによってあなたがたに与えられるであろう。そして、御霊を受けなければ、あなたがたは教えるはならない。」

「宣教師は、……自分の舌が緩められ、これから教える人々に祝福をもたらす話ができるように、ひざまずいて主に嘆願しなければなりません。こうすれば宣教師の生活に新しい光が注がれます。伝道にもっと熱心になれます。ほんとうの意味で、自分が主に代わって語る主の僕であることが分かるようになります。そして自分が教える人からの反応が変わったことが分かります。」<sup>4</sup>

— ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (1910 - 2008 年)

5

聖霊はあなたが話すことを証してください。

**教義と聖約 100 章 7-8 節:**

「しかし、わたしはあなたがたに一つの戒めを与える。あなたがたがわたしの名によって告げることは何であろうと、すべてのことについて厳粛な心と柔和な心で告げなければならない。わたしはあなたがたにこの約束を与える。すなわち、あなたがたがこれを行うならば、聖霊が注がれて、あなたがたの述べるすべてのことを証するであろう。」

「聖霊はキリストの光を通してさえも影響を与えることがおできになるのです。福音の真理の教師は、まったく未知のものや新しいものを大人や子供の心に植え付けるわけではありません。そうではなく、宣教師や教師は、すでにそこにあるキリストの御霊に触れることができるよう助けているのです。福音は、だれにとっても慣れ親しんだ響きを持っています。」<sup>5</sup>

— ボイド・K・バッカー会長 (1924 - 2015 年)

**目標を立てる**

これはただの始まりにすぎません。教義と聖約を研究するときに、伝道活動についてできるだけ多く学ぶという目標を立てましょう。そして、これらの幾つかの教えに従って生活を始めるよう、できることをすべて行ってください。忘れないでください。「あなたがたは神に仕えたいと望むならば、その業に召されている。見よ、畑はすでに白くなり刈り入れを待っているからである。」(教義と聖約 4:3-4) ■

**注**

1. デビッド・A・ベドナー「主の業に召される」『リアホナ』2017年5月号, 68
2. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』19
3. デビッド・A・ベドナー「主の業に召される」70
4. ゴードン・B・ヒンクレー「伝道活動」世界指導者訓練集会, 2003年1月11日, 20
5. ボイド・K・バッカー「キリストの光」『リアホナ』2005年4月号, 10 参照

# 教会を

ほんとうに必要とする

6

つの理由

教会機関誌

エリック・B・マードックとジョシュア・J・パーキー

これまであなたは、なぜ教会があるのですか、または、なぜ教会が必要なのですか、と聞かれたことはありませんか。人々はなぜ、自分で霊的になれないのでしょうか。山や海辺など、特別な場所に行って神を近くに感じるだけでよしとしてはいけないのでしょうか。

どこにいても、神を近くに感じられることは確かですが(実際、これはほんとうによい考えです!), 天の御父はあなたのために一般的な精神性よりもさらにもっとすばらしいことを用意しておられます。神はあなたが最高の自分になることを望んでおられます。事実、神は御自分が持っておられるすべてをあなたが受け継ぎ、永遠の命を得るように望んでおられるのです。そして、あなたがそうできるように、神は一つの計画と組織を備えられました。その計画とは救いの計画であり、末日聖徒イエス・キリスト教会がその組織であり、「全地の面における唯一まことの生ける教会」なのです(教義と聖約1:30)。

わたしたちがほんとうに教会を必要とする理由が6つあります。



## 1. イエス・キリストの福音を学び、生活に取り入れる

教会の会員であることの祝福の一つは、完全な福音を学べるということです(教義と聖約1:17-23参照)。わたしたちが学びたいと心から望み、そして謙遜、勤勉、従順であれば、復活とイエス・キリストの贖罪に関する証を得て希望を持つことができます。

教会の指導者と教会の資料から、福音の回復、今日の預言者の召し、神会の本質などの基本的な教義を学ぶこともできます。真実の教義に従って生活することにより、喜びと幸福を得ることができます。

## 2. 必要不可欠な儀式を受け、 聖約を交わす

御父の業は「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」です（モーセ1:39）。でもわたしたちは時々、御父の業にはわたしたちの働きも必要であることを忘れているかもしれません。わたしたちは、福音の儀式と聖約に従順であることによって永遠の命の祝福を受ける資格がある者となります。ラッセル・M・ネルソン大管長はこう述べています。「望むだけでは、神のみもとに戻れません。その祝福に基づく律法に従う必要があります（教義と聖約130:20-21参照）。」<sup>1</sup>

わたしたちが受ける儀式と交わす聖約は、天の御父のみもとに戻り、御父とともに住むために必要なものです。これらの儀式と聖約には神権が必要で、それは神のみことの教会にだけ存在しています。これらの聖約がなければ、神のみもとに帰れなくなってしまいます。

わたしたちには教会があります。  
そこでわたしたちは啓発され、  
真理を学びます。  
教会は、わたしが知る必要のある  
知識を与えてくれます。  
それは救いの計画に関する知識です。

ニコラス・M,  
(アメリカ合衆国, オハイオ州)

## 3. 互いに助け合いながら 道を歩む

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老はこう教えています。「主が教会を所有しておられる重要な理由の一つは、『永遠の命に至る細くて狭い道』にあって互いを支え合う聖徒の共同体を作ることなのです」(2ニューファイ31:18)。<sup>2</sup>

わたしたちは教会で、互いを思いやる関係を築きます。ともに導き、道案内をし、並んで歩くとき、互いに助け合って困難なときを通り抜けることができます（「神の子です」『賛美歌』189番；エペソ2:19参照）。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老はこう言っています。「わたしたちは皆神の子であり、互いに教え合い、道を見いだせるよう、助け合わなくてはなりません。」<sup>3</sup> 教会はそれを行うための最適な場所です。

教会を通じてわたしたちは、  
儀式を受け、聖約を交わし、家族を  
永遠に結び固めることができます。  
教会はこの地上で神権の権能と  
権威をもった天の御父の組織です。  
教会は、人々に福音の真理を教え、  
キリストのもとに来るように、  
そして人々を昇栄に備えるように教えます。

シャンデーレ・M,  
(オーストラリア)

会員が集まり、互いに助け合って学び、  
成長することのできる環境を作るために  
教会があります。すべての人がほかの人に  
関心を向け、わたしたちが愛し、気にかけて  
いる人の重荷を軽くすることによって、  
会員がさらにキリストに似た者となること  
を助けるために教会が存在しています。  
教会はさらに、人々が安心して生活できる  
ような安全な場所を提供しています。

ジェレミー・P,  
(アメリカ合衆国, イリノイ州)

教会を通じて、わたしは両親や  
ぎょうだいたちとともに永遠の  
家族を持つことができ、いつの日か、  
自分自身の家族を持つことができます。

ウィルフォード・P,  
(ブラジル, サンパウロ)

教会は、わたしたちが愛と福音を  
この地上に広め、道徳的な暗闇に  
ある世界に光をもたらすように  
助けてくれます。

ケンジ・B,  
(アメリカ合衆国, ワシントン州)

教会を通してわたしたちは、  
不死不滅と永遠の命に続く道を  
歩むことができます。  
そこでわたしたちは、  
天の御父と自分の家族と永遠に  
生活することができるのです。

エマ・W,  
(アメリカ合衆国, ニューハンプシャー州)

## 4. 家族が永遠の命を 得られるように助ける

教会が存在するもう一つの大切な理由は、家族が永遠の命を得られるように助けることです。神殿における結び固めの儀式により、家族が永遠に一緒にいられるようになります。それが実現するには、そのような祝福を受けるにふさわしく生活しなければなりません。教会は、家族が互いに助け合ってそのような生活ができるように助けます。

クリストファーソン長老が教えているように、「教会が福音を教え、神権の儀式を施しているのは、家族を永遠の命に備えさせるためなのです。」<sup>4</sup> このように、教会はわたしたちが聖約に従って生活できるように助けます。すなわち、わたしたちが互いに支え合って道を歩めるように助けてくれるのです。

## 5. 世界中のすべての人を 祝福する

クリストファーソン長老は、わたしたちが教会でともに働くとき、天の御父は「個人や少数の人では成し遂げられない事柄を達成〔される〕』』と語っています。<sup>5</sup>

過去 30 年にわたり、教会が福祉、人道支援、奉仕プロジェクトに 4,000 万米ドルの寄付してきたことをあなたは知っていましたか。教会員の惜しみない献金と奉仕活動により、ほかの方法ではできないことを成し遂げてきました。

教会の類いまれな宣教師プログラムを通して、宣教師たちは世界中の人々と福音の光を分かち合っています。現在 10 万 5,000 人近くの宣教師（ヤングアダルトとシニアを含む）が奉仕しています。すばらしいですね。これは幾つかの都市の人口よりも多い数です。

会員の献金により、教会には世界中に神殿を建てる資金があります。2018 年 4 月現在、稼働中、建設中、発表された神殿を合わせると 182 に上ります。



教会は、わたしたちが組織や教えを維持し、会員のための支援システムを作るように助けてくれます。教会を設立することにより、主は正しい教義が教えられることを確実にしておられます。教会は、キリストがわたしたちに望んでおられるような生活をする助けとなる啓示、標準、ガイドラインを会員に提供しています。

レイチェル・F,  
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)

## 6. 地上に 神の王国を築く

神が教会を建てられた最も重要な理由の一つは、教会がこの地上における神の王国だからです(教義と聖約 65 参照)。主はジョセフ・スミスとその後のすべての預言者に神権の鍵を与えられました。クリストファーソン長老はこう教えています。「それらの鍵の権能の中に、教会の神権役員は、救い主の教義の純粹さと儀式の完全さを保っています。」<sup>6</sup>

教会の指導者を通じ、主は御自分の業を管理され、その子供たちを教え導いておられます。そのような指導者がいなければ、様々な種類の間違った考えや教えが脅威となって、わたしたちを暗闇、すなわち禁断の道に導いてしまうことになります。言い換えると、どうすれば永遠の命を得られるかを理解できるように、わたしたちには正しく召され、聖任された預言者と使徒による守りが必要なのです。それは主の教会でなければあり得ないことです。■

教会を通じて、個人ではできないことを達成することができます。

エマ・W,  
(アメリカ合衆国, ユタ州)

天の御父がこの時代が困難な時代であることを御存じなので、教会はわたしたちを助けてくれます。天の御父は、わたしたちがこの地上で導く預言者が必要なことを知っています。天の御父はわたしたちを知っておられます。

マシュー・P,  
(アメリカ合衆国, ニューハンブシャー州)

### 注

1. ラッセル・M・ネルソン「今こそ用意をする時期である」2005年4月の総大会
2. D・トッド・クリストファーソン「なぜ教会が」2015年10月の総大会
3. ジェフリー・R・ホランド「教会で教え、学ぶ」『リアホナ』2007年6月号, 58
4. D・トッド・クリストファーソン「なぜ教会が」
5. D・トッド・クリストファーソン「なぜ教会が」
6. D・トッド・クリストファーソン「なぜ教会が」

# 時間を有意義に 使うために、 自由時間にどのような 活動をするべきでしょうか

「アルマは次のように教えたとき、優先順位について語っていたのです。『この世の生涯は試しの状態、すなわち神にお会いする用意をする時期……となった。』（アルマ12:24）神にお会いする用意をするために時間という貴い贈り物を最も有効に使うには少し指針が必要かもしれませんが、わたしたちは間違いなく、主と家族を最優先事項に挙げることでしよう。』

七十人  
イアン・S・アルデルン長老  
「用意をする時期」  
『リアホナ』2011年11月号、  
31-32



## 完結できることに 取り組む

ほんとうに大切なことを行ってください。わたしは時々、インターネット検索に2時間も費やしたり、意味のないことで時間を無駄にして、後で後悔することがあります。新しい才能を伸ばす、『神への務め』や『成長するわたし』に取り組む、きょうだいや友達に勉強を教える、庭の手入れをする、お話を書く、整理整頓をするなど、できることは限りなくあります。わたしが守っているルールは、完結できることに取り組むために自由時間を使うことです。

キンバリー・A, 19歳  
(アメリカ合衆国, アラスカ州)



## 自分が なりたい人になる

居間に次の言葉を掲示しています。「今日あなたがしていることが、明日あなたが行きたい所に近づけているか自問してください。」どのような人になりたいか、そしてどのような目標があるか考えてください。その目標を達成する助けになることを行う選択をしてください。御霊がともにいてくださるのにふさわしいこと、さらに『若人の強さのために』にある標準と一致することを行ってください。

エミー・P, 16歳  
(アメリカ合衆国, ケンタッキー州)





### 賛美歌を歌ったり聴いたりする

自由時間にする一番好きな活動は、賛美歌を歌うことです。できるだけたくさん賛美歌を覚えることを目標にしています。わたしはよく、覚えたいと思っている賛美歌を何曲かダウンロードし、時間があるときにいつでも賛美歌を聴けるようにしています。

ジャスティス・O, 16歳 (ナイジェリア, オルル)

### モルモン書を研究する

わたしはモルモン書を研究することによって、自由時間がさらに有意義で価値あるものになるようにしています。モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石です。預言者ジョセフ・スミスは、わたしたちは「その教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる」と言っています (モルモン書, 序文)。

リン・T, 18歳 (ガーナ, アクラ)



### 目標を設定する

まず、数年後にどのような人になりたいのか考える必要があります。その後、その目標を達成するために自由な時間に何をすべきかを決めるとよいでしょう。一日の終わりに、わたしは自分の目標について考え、次の日の自由時間に何をするか予定を立てます。

アグステネーリ長老, 20歳 (チリ・サンチアゴ西伝道部)

### 教義を研究する

非常によい自由時間の使い方は、主の教義を研究することです。永遠の観点から見ると、聖文、教会機関誌の記事、そのほかの心を高める資料を読むことには、ほかの活動よりも多くの利点があります。

ジョシュ・C, 13歳 (アメリカ合衆国, テネシー州)

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

## 神がわたしたちのしようとしている決断をすべて御存じなら、 選択の自由にどんな意味があるのでしょうか

人々はこの質問に何世紀も頭を悩ませてきました。わたしたちの答えは、二つの基本的な啓示された真理に基づいています。

**神はすべてのことを知っておられる。** 神に見えることは時間の制限を受けません (教義と聖約 38 : 2 参照)。さらに、この地上に来る前に神は非常に長い間、わたしたちと個人的な関係を持っておられたので、神はわたしたち一人一人の傾向や性格をわたしたち以上によく御存じです。

**わたしたちには選択の自由がある。** わたしたちは英知ある存在で、神の子供です。神はわたしたちを愛しておられ、もしわたしたちが神に従うことを選ぶなら、神の

ようになることができるという計画を作られました (教義と聖約 93 : 27 - 32 ; アブラハム 3 : 21 - 25 参照)。自由意志は、自分の判断で行動することができ、強制されないことを意味します (2 ニーファイ 2 : 14, 16, 27 参照)。

神がわたしたちの性格をよく御存じで、わたしたちの選択を事前に知っておられたとしても、それがわたしたちにそのような選択をさせるものではありません。神がわたしたちを御存じで、わたしたちには選択の自由があるという両面から、神は、強制によらずに、わたしたちに善を行い、イエス・キリストを信じるように勧められるのです (モロナイ 7 : 16 - 17 参照)。

あなたはどう思いますか。

「どうすれば家族との関係を改善することができますか。」

写真を、2018年9月15日必着で [liahona.lds.org](mailto:liahona.lds.org) からお送りください (「投稿する」をクリックしてください)。電子メールの場合は [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) までお送りください。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

神はほんとうに  
皆さんに  
語りかけたいと  
思っておられる  
でしょうか？  
もちろんです！

ラッセル・M・ネルソン大管長  
「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」  
2018年4月総大会から

# 救い主をいつも 覚えているための 6つの方法

十二使徒定員会  
ゲレット・W・ゴング長老

**毎**週聖餐を取るときに、わたしたちは、いつも御子を覚えていることを聖約します。「覚える」という言葉に関する400近い参照聖句から、いつも御子を覚えていられるようにするための方法を6つご紹介します。

第1に、わたしたちは御子と交わした聖約や約束、確約を信頼することによって、いつも御子を覚えていることができます。

第2に、わたしたちは、生涯を通して主の御手があることを感謝の気持ちで認めることによって、いつも御子を覚えていることができます。

第3に、「自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない」という主の約束を信頼することによって、(教義と聖約58:42)、いつも御子を覚えていることができます。

第4に、神は、常に喜んでわたしたちをみもとに迎えるということを覚えておくように呼びかけておられます。

第5に、安息日に聖餐を取ることによって、いつも御子を覚えていることができます。地上での務めが終わるころ、また復活後の務めが始まったばかりのころの両方において、救い主はパンとぶどう酒を取り、主の体と血を覚え

ているようにと言われました。

聖餐の儀式で、わたしたちは進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守ることを父なる神に証明します。そうすることで、いつも御子の御霊を受けられるようになるのです(モロナイ4:3; 5:2; 教義と聖約20:77, 79参照)。

最後ですが、第6に、救い主は、御自身がいつもわたしたちを覚えておられるのと同じように、わたしたちも救い主を覚えているようにと勧めておられます。

救い主はこう宣言されました。

「たとい彼らが忘れるようなことがあっても、わたしは、あなたを忘れることはない。

見よ、わたしは、たなごころにあなたを彫り刻んだ。」(イザヤ49:15-16。1ニーファイ21:15-16も参照)

救い主は証しておられます。「わたしは上げられた者である。十字架につけられたイエスである。神の子である。」(教義と聖約45:52)

いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、わたしたちがいつも御子を覚えていられるよう、へりくだり証し、祈ります(モーサヤ18:9参照)。

2016年4月の総大会説教から。



カリフォルニア州  
レッドウッド  
シティーで生まれる。



2018年3月31日に  
十二使徒定員会の  
会員として  
支持される。



4人の子供と  
3人の孫がいる。



あるコーチに  
勧められ、  
学校の  
アメフト  
チームの  
入部テストを受け、  
アメフトが  
大好きになる。

1980年1月に  
ソルトレイク  
神殿で  
スーザン・リンゼー  
と結婚。



1986年にワシントンD.C.にある  
合衆国国務省で補佐官を務める。



台湾台北伝道部で  
宣教師として奉仕する。

# わたしはいつもいのりすることが



## いのりについての質問

あなたが賛成できるものにチェックしてください。自分の答えも書きましょう。それから、いのりについて知っていることをほかの人に伝えましょう。

### 1. 天のお父様は、なぜあなたにいのってほしいとおもっておられますか？

- わたしは天のお父様の子供なので、わたしの話を聞きたいとおもっておられるからです
- わたしを助けたいとおもっておられるからです

### 2. いつ、いのりますか？

- 毎朝毎晩
- こわくなったとき
- 何かを選んで決めなければいけないとき

### 3. どこでいのりますか？

- 自分の部屋で
- 星空の下で

### 4. 何についてのいのりますか？

- 今自分がかかえている問題について
- その日あったことについて

### 5. 天のお父様からの答えをどのように聞きますか？

- 聖文を読むとき
- 平安を感じる時

## わたしのいのり日記



- 心配事や助けが必要なことを書き出します。
- それについて、いのりの中で天のお父様に話します。
- いのった後、静かに聖霊に耳をかたむけます。
- その後1週間、答えを見つけられるように、よく見たり、聞いたりし続けます。
- 受けた答えを書きとめます。

## いのりを思い出すカード



「最初と、真ん中と、最後にすべきことは、いのりです。」  
 — ヘンリー・B・アイリング管長

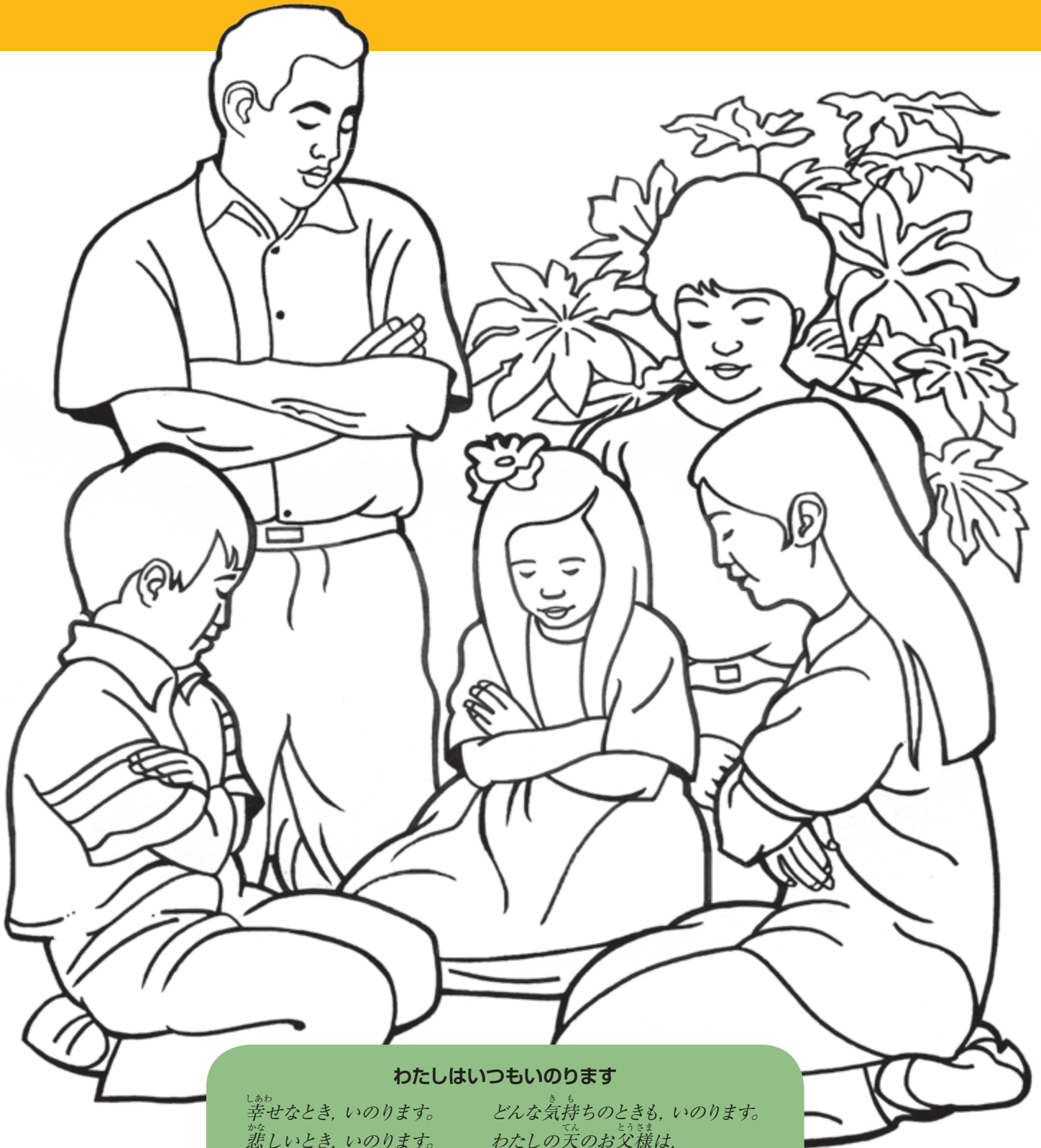
## いのりを思い出すカード



「わたしたちはいのりを通して、主を知り、信頼することができるようになります。」  
 — ボニー・H・コードン姉妹

# できます

「いのりなさい <sup>はな</sup>話しなさい <sup>とうさま</sup>お父様は <sup>き</sup>聞いています  
天国のよう<sup>てんごく</sup>に清<sup>きよ</sup>い <sup>こども</sup>子供たちを愛<sup>あい</sup>して」  
(『子供の歌集』6-7)



## わたしはいつもいのります

<sup>しあわ</sup>幸せなとき、いのります。

<sup>かな</sup>悲しいとき、いのります。

こわいとき、いのります。

ブンブンおこっているとき、  
いのります。

どんな<sup>きも</sup>気持ちのときも、いのります。

わたしの天<sup>てん</sup>のお父様は、

<sup>こころ</sup>心にかけてくださいます。

わたしの一日<sup>いちにち</sup>が良<sup>よ</sup>くても悪<sup>わる</sup>くても、

わたしはいつもいのります。

テレサ・ウィーバー

ひかり  
光をかがやかせる

こんにちは!

わたしの<sup>なまえ</sup>名前は  
ステファニです!

わたしは、<sup>じぶん</sup>自分のあかしを  
<sup>わかちあ</sup>わ分かち合うことによって、  
<sup>ひかり</sup>光をかがやかせようとしています。



うつく<sup>しま</sup>  
美しい島

わたしはスリランカに住んでい  
ます。インドの南の先に近い、  
美しい島国です。ここには、熱  
帯雨林や青い海、そして古代い  
せきがあります。わたしは、自  
分の国が大好きです!

いろいろな<sup>くに</sup>国の友達

わたしの学校には、いろいろな国から来た子供たち  
がいます。キリスト教やイスラム教、ヒンドゥー教や仏  
教を信じる人もいます。みんなおたがいに親切で、親  
しみやすいです。

# かがやくあかし



## 1. こわいすすめ

ある日、キリスト教の生徒たちの特別な集まりがありました。あかしを分かち合うようにすすめられました。部屋中がシーンとなりました。だれもステージに上がりませんでした。みんな、こわかったのです。わたしはずかしがりやなので、こわいとおもいました。

## 2. 「行きなさい」

そのとき、温かい波がわたしに流れこんできて、せいいが「行きなさい」と語りかけてくださいました。心の中で短いのってから、ステージの上になりましたが、ドキドキしていました。



## 3. あかしを分かち合う

わたしはクラスみんなに、天のお父様はわたしたちを愛しており、ご自分によく話しかけてほしいと思っておられると話しました。いのりについての経験を伝えました。天のお父様はわたしのいのりをいつも聞いて、助けたいと思っておられることを知っていると話しました。あかしを分かち合う勇氣を持てたことがうれしかったです。静かな部屋で、かがやく光になっていると感じました。

## 4. 行って行う

モルモン書の中で好きな物語は、ニーファイが、主が命じられたことを行って行うと言ったところです。わたしも、天のお父様がわたしに行うようにと望んでおられることをいつも行う勇氣を持てたらいいと思います。



## 星を送ってください！

イエスはわたしたちに、「光を人々の前にかがやか（せなさい）」とおっしゃいました（マタイ 5：16）。あなたは、どのように光をかがやかせていますか。あなたの経験を書いた星の写真と、あなたの写真と、お父さんやお母さんのきよか書を [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) に電子メールで送ってください。



# けんかをしない約束

ミルナ・M・ホイット

ほんとうにあったお話をもとに書かれました

「自分たちのつるぎと、……あらゆる武器を取って来て、それを地中深くうめてしまった。」(アルマ 24:17)

今日は素晴らしい1日でした。ティミーのいとこのマディーが来ることになっていて、しかも、1週間もとまるのです。ティミーは、マディーにおもちゃを見せたり、一緒に遊んだりするのが楽しみで、待ち切れませんでした。

マディーが来ると、すぐにぼうけんが始まりました。最初の2日間、二人はきょうりゅうのおもちゃで遊んだり、海賊ごっこをしたりしました。すごく楽しかったです。でも、3日目からは、それほどうまくいかなくなってきました。ティミーとマディーの意見がすべてのことについて合わなくなりました。

「外に行って、ツリーハウスを宇宙船にしよう!」とティ

ミーが言うと、

「それはやりたくないな。家の中において、お絵かきしましょ」とマディー。

「家にいたらつまらないよ!」

「そんなことないわ! いつもあなたがやりたい遊びばかりしているじゃない。なんであなたばかりが何をして遊ぶかを決めるの?」

ティミーとマディーはけんかばかりしていました。もうどちらも楽しくありません。ティミーはけんかをするときに感じる気持ちがいらいでした。そこで、あることを思いつきました。

「ねえ、マディー。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人みたいにしろよ」とティミーが言いました。

「何人?」





「アンタイ・ニーファイ・リーハイ人さ。モルモン書に出てくる、武器をうめてしまった人たちだよ。戦いばかりしていたけど、後悔して、悔い改めたんだよ。天のお父様に、二度と戦いませんで約束したんだ。そして、約束を守りたいっていう気持ちをしめすために、武器を土の中にうめたんだよ。」

急に、ティミーの頭にアイデアが思いつきました。「おもちゃのつるぎを作って、土の中にうめて、もうけんかはしないって約束しようよ。」

「いいわよ」とマディーが言いました。

ティミーとマディーはティミーの部屋のプラスチックでできたおもちゃの木工用具を使って、いろいろなつるぎを作りました。長い物もありましたし、短い物もありました。いろいろな色の物もありました。作り終わると、ティミーとマディーは武器を玄関先の大きなしき物の所に持って行きました。

「このしき物を、大きなあなにしよう。」ティミーが言いました。

二人はしき物のはしに座ると、つるぎを一つずつしき物の上に置いて、うめているふりをしました。

ティミーは最後のおもちゃを、積み上がったおもちゃの山に置きながら、「もう二度とけんかをしないと約束します」と言いました。

「わたしもです」と、マディーが言いました。「じゃあ、遊びに行こう！ 何して遊ぶ？」

「絵をかこうよ。」笑顔で、ティミーが言うと、

マディーもにっこりしながら、「その後、外で宇宙船ごっこしましょうね」と言いました。

その週ずっと、ティミーとマディーは約束を守りました。けんかをやめてから、二人はもっと楽しく遊ぶことができました。■

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



グレース・ブラムは9才の女の子で、第二次世界大戦中の1940年、オランダに住んでいました。ドイツのナチス軍がオランダをこうげきし始めたところでした。

## ドン! ドン!

朝の3時、町にはばくだんが落とされていました。ベッドに入ってねむり始めたと思ったらすぐに、お父さんがみんなに何かの下にかくれるように言いました。今グレースはキッチンテーブルの下で、お父さんとお母さん、弟のヒーバーとアルピンと身をよせ合っていました。外で、ばくだんがばくはつする音や、ガラスがわれる音が聞こえ

ました。とても大きな音でした。

「わたしたち、どうになってしまうの?」グレースがお父さんに聞きました。

お父さんはグレースのかみの毛をなでながら、「分からない。でも、おいのりをしよう」と言いました。

ブラム家族は身をよせ合って、「愛する天のお父様、わたしたち家族をお守りください」とお父さんがいのりました。

しばらくして、大きな音がおさまりました。ばくはつがやみました。みんな無事でした。

お母さんがグレースの手を取ると、にっこりほほえみかけ

# 平和 の声

メーガン・アームクネヒト

ほんとうにあったお話をもとに書かれました

「どんなことが起こっても、神様はわたしたち家族を守ってくださるわ」とお母さんが言いました。

ました。「神殿で結び固められたときのこと、覚えている？」

グレースはうなずきました。インドネシアからオランダに引っこしたとき、途中でユタによって、ソルトレーク神殿で結び固めを受けることができたのです。

「どんなことが起こっても、神様はわたしたち家族を守ってくださいるわ」とお母さんが言いました。

次の日、グレースは家の外で、町の広場にいたとき、サイレンが鳴りひびくのを聞きました。空を見上げると、頭の上に飛行機が飛んでいて、小さな黒い物が落ちて来ていました。グレースはそこに立って、口を大きく開けたまま、それをながめていました。

ある男の人がグレースにさげび始めました。「走れ！ ばくだんだぞ！」

グレースは家に向かって走りました。ようやく無事に家の玄関のドアから入ったとき、心臓がどきどきしていました。

数日後、ドイツ政府の指導者であるナチスが正式にオランダをせんりょうしました。ナチスは、それまで軍の指導者だった人々を牢屋に入れることもありました。お父さんはオランダ軍の指導者だったので、ナチスの指導者はお父さんを注意して見張っていました。

「でも、お父さんは連れて行かれることはないわ」とグレースは思いました。「わたしたちは教会員だし、お父さんは伝道部長会の指導者の一人だもの。神様はお父さんを守ってくださいるわ。」

ばくげきの後、プラム家族は町をはなれなければいけなくなりました。ある日、新しい学校で、グレースは何人かの生徒たちがひそひそ声で話しているのを聞きました。

「今日、ろうやに連れて行かれた人たちがいるらしいよ！」  
「帰って来られるのかな？」

グレースはこわくなりました。お父さんは大丈夫でしょうか。できるだけ急いで家に帰りました。ドアから飛びこむと、玄関にお母さんのすがたが見えました。

「ほんとうなの？」グレースは聞きました。「お父さんは行ってしまったの？」

お母さんは何も言いませんでしたが、グレースはお母さんの悲しそうな目を見て、お父さんが連れて行かれたことが分かりました。お父さんは戦争のほりよになってしまいました。グレースはかべによりかかりました。こわくて、泣くこともできないほどでした。

「わたしたち、どうすればいいの？」そう思ったときです。

「またお父さんに会えます」という声が聞こえました。静かではっきりした声でした。グレースは、それがせいれいの声だと分かりました。少し気持ちが楽になりました。

何がどうなるか、はっきりとは分かりませんが、天のお父様が自分や家族のことを守ってくださいることは分かりました。

### つづく■

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ニュージャージー州に住んでいます。





「イエス・キリストが生きておられることを知っています。主を愛しています。主がわたしたち一人一人を愛しておられることを、心から知っています。」

十二使徒定員会

ロナルド・A・ラズバンド長老

「教会指導者を支持する」『リアホナ』2016年5月号, 49



七十人  
ヨーク・クレビンガット長老

# サッカーと日曜日

ドイツでは、サッカーは一番人気のあるスポーツです。5才のとき、父がわたしをサッカークラブに入れました。週に3、4回練習がありました。試合はほとんど土曜日か日曜日にありました。クラブチームでサッカーをしていないときは、友達とサッカーをしていました。ほとんど毎日、太陽がしずむまでサッカーをしました。

15才のとき、もっと大きな町のチームでプレイするようになりました。サッカーにもっと真剣に取り組むようになったのです。練習の回数もふえました。もっとたくさん場所に行き、もっとたくさんチームと試合をするようになりました。サッカーがわたしの生活すべてになりました。

そして、もうすぐ18才になるというときに、あるコンサートに行き、自分と同じくらいの年の男の子に会いました。かれはとても目立っていました。お酒もたばこもせず、悪い言葉も使いませんでした。わたしはその理由を知りたいと思いました。かれが末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることが分かりました。かれのもはんを見て、もっと教会について学びたいと思いました。その後、わたしは教会に入りました。

バプテスマを受けて、二つのこ

とを学びました。一つ目は、安息日にサッカーをしてはいけないで、教会に行かなければならないことです。二つ目は、天のお父様はわたしに、伝道に出てほしいと思っておられることです。でも、わたしはサッカーがかなり上手でした。小さいころからずっと一緒にサッカーをしてきた友達がいました。わたしたちは二人とも、プロのサッカーチームからさそわれました。友達は、プロになることにしました。わたしは、サッカーをあきらめて、伝道に行くことを選びました。教会が真実であると知っていたので、それを選ぶのはむずかしいはありませんでした。

でも、家族や友達にとってはわたしの選り方を理解するのはむずかしいことでした。わたしが何をしているのか分からなかったのです。両親はわたしに、友達がサッカーをしている新聞の記事を送ってきました。わたしの心はおだやかではありませんでした。でも、伝道に出たことを後悔したことは一度もありません。

わたしが伝道に出ることを選んだので、天のお父様は毎日わたしを祝福してくださいました。平安をあたえてくださいました。正しい選択をすることであたえられる良い気持ちを感じました。■



# ダビデとゴリアテ

キム・ウェブ・リード

ダビデは羊の世話を  
少年でした。  
お兄さんたちは軍人で、  
人々を守ろうと  
していました。  
ある日、ダビデは  
お兄さんたちに食べ物  
とどけるようにお父さん  
からたのまれました。



そこに着いたとき、ゴリアテという名前の大きな兵隊に会いました。ゴリアテは、だれかが自分をたおすことができたなら、戦争は終わると言いました。でも、ゴリアテとたたかう勇気のある人はだれもいませんでした。



ダビデは、<sup>じぶん</sup>自分がゴリアテとたたかうと言いました。<sup>おうさま</sup>王様は、ダビデにたたかってはいけないと言いました。ダビデはまだ<sup>しょうねん</sup>少年で、ゴリアテは強くて大きかったからです。でも、ダビデは神様が自分を助けてくださると知っていました。ついに<sup>おうさま</sup>王様は、「行きなさい。どうぞ<sup>しゅ</sup>主があなたと<sup>とも</sup>共におられるように」と言いました。



ダビデは、ゴリアテのように体を守る武具を身に付けていませんでした。ダビデは石を拾うと、石投げ器に付けました。そしてその石をゴリアテのひたいに投げました。ゴリアテはたおれました。ダビデが勝ったのです！自分の民を救ったのです。



わたしは、<sup>おお</sup>大きな、<sup>もん だい</sup>こわい問題に<sup>む</sup>向き合<sup>あ</sup>うことがあります。  
<sup>かみ さま</sup>神様に<sup>たす</sup>助けを<sup>もと</sup>求めるとき、<sup>かみ さま</sup>神様はわたしを<sup>つよ</sup>強くしてくださいます。 ■

サムエル<sup>きょうだい</sup>記上<sup>しょう</sup>第17章から。



# わたしはよいもはんに なることができます





十二使徒定員会  
マービン・J・  
アシュトン長老  
(1915-1994年)

## 努力し続ける

永遠の命を目指して競うレースの勝者となるためには、努力、それもたゆむことなくひたすら努力を続け、神の助けを頂いてよく耐えることが必要です。

**わ** たしたちの力の限りすべてのことを喜んで行うようにという救い主の教えについて考えるとき〔教義と聖約 123:17 参照〕、放蕩息子の父親のことを思い出します。この父親は、わがままな自分の息子がなくなったことやその行いのために心を痛めました。しかし、聖書のどこを開いても、彼が「どこで間違っただろうか」、「なぜこんな目に遭っただろうか」、あるいは「どこで失敗したのだろうか」などと言って嘆いたとは一言も書かれていません。

それどころか、苦々しい思いも抱かずに、息子の道を外れた行いに耐え、戻った息子を愛をもって迎えたものと思われます。「このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。」(ルカ 15:24)

家族のことでがっかりするようなことがあったときには、特に忍耐を学ぶ必要があります。わたしたちが愛し、忍耐し、理解しようと努めているかぎ



り、たとえ進歩していないように見えたとしても、失敗しているわけではありません。努力を続ける必要があります。……

永遠の命を目指して競うレースの勝者となるためには、努力、それもたゆむことなくひたすら努力を続け、神の助けを頂いてよく耐えることが必要です。……

……どんな人にも苦しみや障害は待ち受けています。心の痛みや悲しみ、死、罪、弱点、災難、病気、苦痛、心配事、故のない非難、孤独、拒絶などを経験することでしょう。こうした問題にどう対処するのか。それによっ

て、その問題がつまりきの石になるか、それとも人格形成のための積み石になるかが決まってくるのです。勇気ある人々は、こうしたチャレンジを成長と進歩の機会にします。……

子供のころわたしたちは、時々、「何も心配しなくていいからね」と言われました。しかし、現実はそうではありません。どのような人であっても問題はあります。悲劇や挫折は、人生の計画の中に予期せぬときに入り込んでくる侵入者です。……

……人の偉大さというものは、一見まったく不公平で、不条理で、しかも不当な人生の出来事に直面したとき、その人がどのような反応を示すかによって一番よく知ることができます。……

……イエスはキリストであられます。主の偉大さを示すしるしの一つは、その忍耐力であり、わたしたちの従うべき変わることをない光となっています。主はこの地上におられる間、最も大きな苦痛を受け、拒絶に遭われたとき、立派に耐え忍ばれました。わたしたちが主の教えに従い、主の導きを求め、主の戒めを守ろうと努力を続けるならば、神はわたしたちが耐え忍べるように助けてくださることを証します。■

「あなたがそれをよく堪え忍ぶならば」〔聖徒の道〕  
1985年1月号、21-23から。



放蕩息子  
ジャスティン・ウィートレイ

「そこで彼は本心に立ちかえって言った、『父のところには食物のあり余っている雇人が大ぜいいるのに、わたしはここで飢えて死のうとしている。立って、父のところへ帰って、こう言おう、父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかっても、罪を犯しました。もう、あなたのみすこと呼ばれる資格はありません。どうぞ、雇人のひとり同様にしてください。』」  
そこで立って、父のところへ出かけた。」(ルカ 15 : 17-20)



ヤングアダルト

エリックはどのように神を  
信頼することを学んだのでしょうか

ガーナで暮らし、  
重度の障がいがあっても、  
エリックは人生で良いことを  
認識できます。

44

青少年の教師  
デジタルの使用において  
青少年の参加を促す

30

将来の宣教師  
準備するために  
これらの質問を使う

50

子供  
いのりについての質問の  
答えを書きこむ

66

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会



JAPANESE